

認定コミュニティ活動状況資料

小和田地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する資料

認定基準確認表	1
規約等	2～6
委員名簿	7

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する資料

前年度の活動報告書及び収支決算書	8～17
当該年度の活動計画書及び収支予算	18～19
特定事業の実績報告書及び収支決算書	20～22

【参考資料】

小和田地区まちぢからニュース57号

小和田地区まちぢからニュース58号

小和田地区まちぢからニュース59号

市長と語る会 特集号

設立趣意書抜粋（地区の特性等）

（地域背景）

小和田地区は、辻堂駅西口に近い藤沢市に隣接した総数約4,300世帯の6自治会からなり小和田コミセンを拠点にして単位自治会、関係諸団体或いは未組織の活動家が年間を通してさまざまな地域活動を展開している。

辻堂駅周辺地区は大型商業施設の進出で周辺の街環境が一変し車や人の流れがまた人口の増加によって生活環境が大きく変化してきている。

その流れはまだ続いており茅ヶ崎市による「辻堂駅西口周辺まちづくり計画」も途上にある。

これら住宅、人口の密集化は大災害発生時における人命の安全確保の面から最大の関心事となっておりその取り組みが深刻で最重要課題となっている。

関係諸団体はそれぞれの担当課題や地域事業活動に専門的に取り組んではいるが枠を超えた課題もあって他の団体との連携活動の必要性がふえてきている。

（趣旨）

地域の住民や諸団体が、一丸となって自分たちが暮しているまちの真に必要なとしている課題を述べあい情報、目標、価値観を共有して事業や活動に取り組んでいきたい。

今ひとつ十分でなかった諸団体間の横断的協力体制を強め、情報の共有や重要課題、共通課題を多面から絞り込み既成の枠にとらわれずに解決策や改善策を練り上げていきたい。

（将来の方向性）

新しいコミュニティへ向けての脱皮を急がねばならない。

生活充実や課題解決など住民の「想い」はまちちから協議会を通してまちづくりへ向かって行くというみんなの意識の転換が急がれる。

まちちから協議会を核とした地域自治システムが機能しやすいように従来仕組みの再編も必要となってくるだろう。

効率的で時間的負担が少なく且つ透明性のある連合内組織の確立が急がれる。

この協議会活動を通して幅広く多くの人たちが交わっていく**輪作り＝和づくり**を目指していきたい。

住民主体の活動は、自治意識やモラルの高まりとなって住民間の絆を高め必ずや幅広い共助、近助の基盤向上につながっていくことだろう。

また、活動していく中でやり甲斐や楽しさも見出しながら新しいコミュニティを軌道へ乗せ持続的安定した協議会へと発展させていきたい。

認定基準確認表

小和田地区まちぢから協議会

認 定 基 準 (地域コミュニティの認定等に関する条例第2条)		基準への適合状況（申請時）	基準への適合状況（R6年度）
(1)	申請書に、主として活動する区域が記載されているか。	申請書に活動区域の記載あり。	
	申請団体の規約に、主として活動する区域が規定されているか。	規約第2条に市長が告示する小和田地区を協議会の活動区域とする旨規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
	規約に規定された主として活動する区域が、市長の告示する区域と合致しているか。	市長が告示する区域である、審議会ファイル「別図8」と規約第2条における協議会の活動区域が合致。	・申請時と同様で変更無し。
(2)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、当該活動区域に有する、市長に届け出た全ての自治会（以下「全ての自治会」という。）が規定されているか。	規約第5条（1）に「市長が告示する小和田地区に属する単位自治会の代表」が委員である旨記載あり。	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、全ての自治会が構成員であることが明確であるか。	市長に届け出た自治会は「地区別単位自治会の名称」とおり6自治会あり、名簿に、「地区別単位自治会の名称」に記載されている全ての自治会名が記載されている。	・別紙名簿のとおりいくつかの自治会で会長の変更はあるものの、申請時と同様に全ての自治会が構成員となっている。
(3)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例施行規則第3条第1項各号に規定された団体が規定されているか。	規約第5条（3）～（13）に規定あり。 ◆地域福祉の推進を主たる目的とするコミュニティ （3）小和田地区社会福祉協議会 （4）小和田地区民生委員児童委員協議会 （13）みんなのこわだボランティアセンターの代表 ◆文化、芸術又はスポーツの振興を主たる目的とするコミュニティ （7）松林地区体育振興会 ◆児童又は青少年の健全な育成を主たる目的とするコミュニティ （5）小和田小学校区青少年健全育成推進協議会 （6）松林学区青少年育成推進協議会 （8）小和田小学校PTA （9）松林小学校PTA （10）赤羽根中学校保護者と教師の会 （11）松林中学校PTA （12）子ども会	・団体の名称が一部変更した。 ◆児童又は青少年の健全な育成を主たる目的とするコミュニティ （8）小和田小学校こわだ会の代表 （12）杉の子こども会の代表
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、前項の団体が構成員であることが明確であるか。	名簿に、「規約第5条（3）～（13）」に規定される団体名が記載されている。	・申請時と同様で変更無し。
(4)	申請団体の規約に、公募により選出される構成員について規定されているか。	規約第5条（14）に規定あり。	・規約変更に伴い、号ずれあり。 規約第5条（15）に規定あり。
(5)	申請団体の規約に、申請団体の活動又は事業に活動区域の誰もが参加できることが規定されているか。	規約第9条、第17条～第19条に部会の規定あり。 小和田地区まちぢから協議会部会規程で必要な事項を定めている。	・申請時と同様で変更無し。 ※部会を設置し、誰もが気軽に参加できる協議の場づくりを進めている。
(6)	申請団体の規約に、運営が民主的に行われる仕組みが規定されているか。	規約第9条第2項及び第3項に過半数の出席、多数決といった意思決定の方法が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(7)	申請団体に関する、目的、名称、主として活動する区域、主たる事務所の所在地、代表者に関する事項、会議に関する事項が規定された規約があるか。	規約第3条に目的、第1条に名称、第2条に主として活動する区域、第1条に主たる事務所の所在地、第8条に代表者に関する事項、第9条に会議に関する事項が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(8)	申請団体の規約に、営利的活動、宗教的活動、政治的活動を主たる目的とする事業が行われないことが読み取れるか。		・別紙事業報告書のとおり、規約第3条に規定された目的達成に関する事業のみを行っている。

小和田地区まちぢから協議会規約

第1条（名称及び所在地）

本会は小和田地区まちぢから協議会と称しその所在地を小和田地区コミュニティセンター（小和田1－22－60）内とする。

第2条（区域）

本会の活動区域は市長が告示する小和田地区の区域とする。

第3条（目的）

本会は地域における課題解決のために小和田地区を代表する組織として新たな地域コミュニティを形成し自主的かつ主体的に活動するとともに市と協働して住みよい地域社会を構築する事を目的とする。

第4条（事業）

本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1）住民相互及び各種団体の交流と親睦に関する事
- 2）住民参画の促進に関する事
- 3）地域のあり方や目指すべき方向性の検討に関する事
- 4）地域課題を共有しその解決のための検討、提案及び実施に関する事
- 5）文化・福祉の向上、生活環境の保持改善に関する事
- 6）その他前条の目的を達成するために必要な事項に関する事

第5条（委員）

本会には次に掲げる者からなる委員を置くものとする。

- 1）市長が告示する小和田地区に属する単位自治会の代表
- 2）小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会の代表
- 3）小和田地区社会福祉協議会の代表
- 4）小和田地区民生委員児童委員協議会の代表
- 5）小和田小学校区青少年健全育成推進協議会の代表
- 6）松林学区青少年育成推進協議会の代表
- 7）松林地区体育振興会の代表
- 8）小和田小学校こわだ会の代表
- 9）松林小学校PTAの代表
- 10）赤羽根中学校保護者と教師の会の代表
- 11）松林中学校PTAの代表
- 12）杉の子こども会の代表
- 13）みんなのこわだボランティアセンターの代表

- 14) (社) 辻堂西口 YU・ZU ルームの代表
- 15) 公募による者 (若干名)
- 16) 本会が推薦する者
- 2 委員の任期は 2 年間とする。ただし再任を妨げない。
- 3 欠員による補充委員の任期は前任者の残任期間とする。

第 6 条 (役員)

本会には次の役員を置く。

- 1) 会長 1 名
 - 2) 副会長 2 名
 - 3) 書記 1 名
 - 4) 会計 1 名
 - 5) 監事 2 名
- 2 前項の役員は総会において委員の中から互選により選任する。

第 7 条 (役員の任期)

役員の任期は 2 年とする。ただし再任は妨げない。

- 2 欠員により選任された役員の任期は前任者の残任期間とする。

第 8 条 (役員の職務)

役員は次の職務を行う。

- 1) 会長は本会を代表し会務を統括する。
- 2) 副会長は会長を補佐し会長に事故がある時にはその職務を代理する。
- 3) 書記は事務局を統括する。
- 4) 会計は会計事務を処理する。
- 5) 監事は本会の会計事務の状況及び業務執行について監査を行い結果を定期総会で報告せねばならない。

第 9 条 (会議)

本会の会議は総会、役員会、委員会及び部会とする。

- 2 会議は部会を除き各会議を構成する者の過半数が出席しなければ開くことができない。ただし、総会については委員のうち委任状の提出があった者は出席とみなす。
- 3 会議の議事は出席者の過半数で決し可否同数の場合は議長が決する。

第 10 条 (総会)

総会は委員をもって構成し会長が招集するものとする。その議長は出席した委員の中から選任する。

- 2 総会は定期総会と臨時総会とする。
- 3 定期総会は年度当初に開催する。

- 4 臨時総会は会長が認めたとき又は委員の 3 分の 1 以上からの要求があるときには招集しなければならない。

第 11 条（総会の議決事項）

- 1) 事業報告および決算に関すること。
- 2) 事業計画および予算に関すること。
- 3) 本会の役員の選任に関すること。
- 4) 協議会が推薦する者及び公募による委員の承認に関すること。
- 5) 規約の制定及び改廃に関すること。
- 6) 本会の組織及び運営方針に関すること。
- 7) その他委員から提案された事項に関すること。

第 12 条（総会の議事録）

総会の議事については次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- 1) 日時及び場所
 - 2) 委員の現在数及び出席者数（委任状を提出した委員を含む）
 - 3) 開催目的、審議事項、議決事項
 - 4) 議事の経過の概要及びその結果
 - 5) 議事録署名人の選任に関すること。
- 2 議事録には議長及びその総会において選ばれた議事録署名人 2 名の署名押印をしなければならない。

第 13 条（役員会）

役員会は役員（監事を除く。）、部会長、及び自治会長をもって構成し会長が招集する。更に第 5 条に掲げる団体の代表者の参加が必要な場合には会長が招集する。

- 2 役員会の議長は本会の会長が就く。
- 3 役員会では必要に応じて本会の委員以外の者に出席を求め意見を聞くことができる。

第 14 条（役員会の審議事項）

役員会では次の事項を審議する。

総会及び委員会に付議する事項や本会運営全般についての調整に関する事項。

第 15 条（委員会）

委員会は委員をもって構成する。

- 2 委員会の議長は本会の会長が就く。
- 3 委員会は会長が必要と認めたときに招集する。
- 4 委員会には委員以外の者の出席を求め意見を聞くことが

できる。

第 16 条（委員会の議決事項）

委員会は次の事項を議決する。

- 1) 総会及び役員会に付議すべき事項。
 - 2) 部会が協議した事業に関する事項。
 - 3) 部会間及び各団体間の連絡調整に関する事。
 - 4) 新たな部会の設置に関する事。
 - 5) 部会長の選任に関する事。
 - 6) 総会及び役員会で議決された事項の執行に関する事。
 - 7) 総会及び役員会の議決を要しない会務の執行に関する事。
 - 8) 委員の公募について募集手続きに関する事。
 - 9) 本会に寄せられた意見及び提案事項に関する事。
 - 10) その他委員から提案された事項に関する事。
- 2 委員会開催の議事録を残す事。

第 17 条（部会）

部会は委員と部会員をもって構成する。

- 2 各部会には委員会が委員の中から選んだ部会長と部会の中から選んだ副部会長を置く。
- 3 部会は委員会または部会長が必要と認めたときに招集する。
- 4 部会長及び副部会長の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

第 18 条（部会長及び副部会長の任務）

部会長及び副部会長は次の任務を行う。

- 1) 部会長は担当部会を代表し部会の運営を統括する。
- 2) 副部会長は部会長を補佐し部会長に支障がある場合にはその任務を代行する。

第 19 条（部会の協議事項）

部会は所掌する事項について調査・審議し委員会からの命を受け各種の事業を実施する。

- 2 部会名及び所掌する事項は別に定める。

第 20 条（事務局）

事務を処理するために事務局を置く。

- 2 事務局には委員会が推薦する者をおくことができる。

第 21 条（事務局の所掌事務）

事務局は次の事務を行う。

- 1) 会議への出席
- 2) 会議の開催通知及び会議資料に関する事。

- 3) 議事録の作成に関する事。
- 4) 市や諸団体等との連絡調整に関する事。
- 5) その他本会の運営に必要な事項に関する事。

第 22 条 (住民等からの意見等の取扱い)

会議で出された意見等の他小和田地区の住民及び各種団体から寄せられた意見等は事務局が取りまとめ委員会に報告する。

第 23 条 (事業・会計年度)

事業及び会計年度は毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日とする。

第 24 条 (運営経費)

本会の運営のための経費は補助金やその他の収入をもって充てる。

第 25 条 (必要事項)

その他本会の運営について必要な事項は別に定める。

附則 この規約は平成 26 年 10 月 29 日から施行する。

2 この規約の成立後、最初の委員・役員の任期は、第 5 条の 2 及び第 7 条の規定にかかわらず、26 年度末までとする

附則 この規約は平成 28 年 4 月 24 日から施行する。

附則 この規約は平成 29 年 4 月 23 日から施行する。

附則 この規約は令和 3 年 4 月 17 日から施行する。

附則 この規約は令和 4 年 4 月 16 日から施行する。

令和6年度 小和田地区まちぢから協議会 委員名簿

No.	役職	氏名	所 属 団 体	
1	会長	雫石 剛	協議会推薦（菱沼小和田自治会）	
2	副会長	三浦 一浩	赤松町自治会会長	
3	副会長	下山 博	協議会推薦（プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会）	
4	書記	大野 久美子	協議会推薦（小和田小学校こわだ会代表）	
5	会計	川原 葉月	協議会推薦	
6	監事	日比 雅美	協議会推薦（新宿自治会）	
7	監事	小林 範夫	協議会推薦（赤松町自治会）	
8	委員	香山 隆	協議会推薦（新宿自治会）	
9		豊田 幸子	協議会推薦（菱沼小和田自治会）	
10		山田 恒久	小和田地区民生委員児童委員協議会会長	
11		矢藤 誠治	小和田地区社会福祉協議会会長	
12		鈴木 徳信	松林地区体育振興会代表・（社）辻堂西口 YU-ZUルーム代表	
13		山下 眞人	みんなのこわだボランティアセンター長	
14		風岡 学	協議会推薦（赤松自治会、小和田地区自治会連合会会長）	
15		眞壁 章	本宿自治会会長	
16		安良岡 靖史	新宿自治会会長	
17		田中 茂	菱沼小和田自治会会長	
18		竹内 文雄	赤松自治会会長	
19		永合 正行	協議会推薦（赤松町自治会）	
20		田口 眞一	プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会会長	
21		齋藤 里子	小和田小学校区青少年健全育成推進協議会会長	
22		三村 香代子	小和田小学校こわだ会代表	
23		佐藤 律子	赤羽根中学校保護者と教師の会代表	
24		白井 幸雄	松林学区青少年育成推進協議会代表	
25		委文 光子	松林中学校 P T A 代表	
26		高橋 沙織	松林小学校 P T A 代表	
27		山口 薫	杉の子こども会会長	
28		高木 眞由美	協議会推薦（本宿自治会）	
29		須藤 亮	公募委員（新宿自治会）	
30		南 吉夫	公募委員	
オブザーバー		高澤 誠	小和田小学校校長	
市役所担当		杉本 真太郎	市民自治推進課	

前年度の活動報告書及び収支決算書

小和田地区まちぢから協議会 令和6年度 実績報告

1 会議等の実施

(1) 総会、役員会、委員会

日 付	会議	主な内容、出席者等
令和6年4月11日	役員会	○令和6年度役員会・委員会予定表について ○令和6年度定期総会議案の最終確認について ○協議会推薦枠の考え方について ○委員選考委員会議要綱の改定について ○令和6年度安否確認訓練（6/23）の提案について：防災部会
令和6年4月13日	定期総会	- 議案第1号 令和5年度事業報告および収支決算・監査結果について - 議案第2号 令和6年度事業計画および収支予算について - 議案第3号 令和6年度協議会推薦委員の選任・承認について - 議案第4号 令和6年度新役員の選任・承認について - 議案第5号 令和6年度委員名簿について
令和6年4月13日	委員会	○退任役員、退任委員、新役員、新委員の挨拶 ○新旧役員の引継ぎ（役職ボードの伝達等）
令和6年5月14日	役員会	○役員自己紹介 ○令和6年役員会・委員会の進め方について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会5月度定例会報告 ○安否確認に関するポスターについて：防災部会 ○フリースペースの後援依頼について：民児協
令和6年5月14日	委員会	○委員自己紹介 ○まちぢから協議会の説明（新委員向け）：市民自治推進課 ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会5月度定例会報告 ○令和6年委員会の進め方について ○各部会・団体の連絡・報告事項について
令和6年6月18日	役員会	○委員会グループLINEの運用について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会6月度定例会・情報交換会報告 ○部会・自治会からの報告について ○市長と語る会のテーマについて
令和6年6月18日	委員会	休会
令和6年7月16日	役員会	休会
令和6年7月16日	委員会	○「茅ヶ崎市ゴミ収集のあり方」について：資源循環課、環境事業センター ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会7月度定例会報告 ○市長と語る会について：現状報告 ○部会・各団体の報告について
令和6年8月		役員会・委員会 休会

令和6年9月17日	役員会	○市長と語る会開催の件（令和7年2月8日）について ○コミセン指定管理者移行の件について ○令和7年年度特定事業の件について ○まちぢから協議会制度検証の件について ○部会・自治会からの報告について
令和6年9月17日	委員会	○市長と語る会開催の件（令和7年2月8日）について ○コミセン指定管理者移行の件について ○令和7年年度特定事業の件について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会9月度定例会報告 ○その他部会・各団体の報告について
令和6年10月15日	役員会	○コミセン指定管理者移行の件について ○まちぢから協議会制度検証の件について ○チャレパ今後の取組みについて ○市長と語る会開催の件について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会10月度定例会報告 ○部会・自治会からの報告について
令和6年10月15日	委員会	休会
令和6年11月19日	役員会	○コミセン指定管理者移行の件について
令和6年11月19日	委員会	○コミセン指定管理者移行の件について ○市長と語る会の件について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会11月度定例会報告 ○その他部会・各団体の報告について
令和6年12月17日	役員会	休会
令和6年12月17日	委員会	○市長と語る会進捗報告とお願いについて ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会12月度定例会報告 ○その他部会・各団体の報告について ○事務局からの連絡について（賀詞交歓会・次年度行事予定の件）
令和7年1月21日	役員会	○令和7年度まち協定例会日程検討の件について ○役員・部会・自治会からの報告等について
令和7年1月21日	委員会	○民生委員改選に伴う説明について：福祉活動推進担当 ○令和7年度まち協定例会日程の件について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会1月度定例会報告 ○市長と語る会進捗報告及び出欠確認について ○部会・各団体の報告について
令和7年2月18日	役員会	○令和7年度まち協活動に関する件（総会日程・活動予定・予算等）について ○役員・部会・自治会からの報告等について
令和7年2月18日	委員会	○令和7年度まち協定例会日程の件（総会日程・人事改選等）について ○茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会2月度定例会報告

		○市長と語る会の件（感想・反省等）について ○部会・各団体の報告について
令和7年3月18日	役員会	○令和7年度定期総会に関する確認
令和7年3月18日	委員会	○令和7年度定期総会に関する確認 ○子ども部会設立について

（2）交通安全部会

日 付	会議の名称	主な内容、出席者等
令和6年4月18日	第146回部会	○部会員の自己紹介について ○ゾーン30の活動について ○道の愛称の活用について
令和6年5月2日	第147回部会	○部会開催場所について ○ゾーン30の活動について ○予算の使い道について
令和6年6月20日	第148回部会	○1年生歩行訓練に参加してみても ○3年生自転車教室に参加してみても
令和6年7月4日	第149回部会	○通学路改善提案について ○9月のゴミ拾いについて ○東小和田交差点自転車左側通行啓発活動でのヘルメット着用率について
令和6年9月5日	第150回部会	○小和田小学校通学路の草取りについて ○ゾーン30の活動について
令和6年10月4日	第151回部会	○通学路の草取りを開催してみても ○ゾーン30の活動について ○部会の活動報告（広報誌掲載内容確認）
令和6年11月7日	第152回部会	○通学路の草取りを開催してみても ○ゾーン30の活動について ○通学路改善提案合同点検について
令和5年12月5日	第153回部会	○通学路改善提案の合同点検について ○東小和田交差点自転車左側通行啓発活動について
令和6年1月9日	第154回部会	○交通安全教室について ○東小和田交差点自転車左側通行啓発活動について ○通学路改善提案の要望事項について ○ゾーン30の活動について
令和6年2月6日	第155回部会	○次年度の部会長及び日程について ○交通安全教室について
令和6年3月6日	第156回部会	○次年度活動及び部会員、予算等確認 ○交代部会員の活動感想等

(3) 広報部会

日 付	会議の名称	主な内容、出席者等
通年	広報活動事業の検討	○時期に応じて広報紙発行、各種所属団体のイベント周知等に伴うホームページ更新
令和6年5月21日	第27回部会	○「広報部会」新任会員の紹介 ○まちぢからニュース58号の企画検討。
令和6年7月23日	第28回部会	○まちぢからニュース58号の感想。 まち協のホームページ見直しの意見があった。
令和7年1月28日	第31回部会	○まちぢからニュース59号の企画検討 ○市からの特定事業の申請の了解。
令和7年3月24日	第32回部会	○まちぢからニュース59号の評価。 ○新年度計画の検討。

※29回(9月度)と30回(11月度)は開催しなかった。

(4) 防災部会

日 付	会議	主な内容、出席者等
令和6年4月24日	第42回部会	○令和6年度 小和田地区まちぢから協議会総会対応について ○令和6年度防災部会の活動について ○感震ブレーカー補助金制度活用について
令和6年5月22日	第43回部会	○令和6年度第8回安否確認訓練(6/23)実施について ○コ防災訓練(10/20)への対応検討について➡『広域避難場所避難訓練』案 ○令和6年度災害対策地区防災拠点(避難所)打合せについて ○感震ブレーカー説明会の各自治会毎開催予定について ○本庁舎(6/15)まち協情報交換会のお知らせ
令和6年6月26日	第44回部会	○令和6年度第8回安否確認訓練(6/23)実施結果報告について ○令和6年度小和田地区第23回防災訓練(10/20)対応検討について ○感震ブレーカー説明会実施報告について ○こわだ防災 Vol. 14 発行に伴う依頼事項について ○「令和6年度災害対策地区防災拠点(避難所)打合せ(6/12)会の報告
令和6年7月24日	第45回部会	○市長と語る会(8/24 予定)2月延期について ○令和6年度第23回防災訓練『広域避難場所避難訓練』実画案の検討
令和6年8月28日	第46回部会	○令和6年度小和田地区第23回(10/20)防災訓練実施について ○感震ブレーカーの購入申込状況について
令和6年9月25日	第47回部会	○感震ブレーカー「ヤモリの耐用年数」についての調査報告 ○茅ヶ崎グリーンハイツ作成「我が家の備えのチェックシー

		ト」の紹介 ○令和6年度小和田地区第23回(10/20)防災訓練・報告会実施について
令和6年10月23日	第48回部会	○令和6年度小和田地区第23回(10/20)防災訓練実施結果報告について ○防災訓練の取組みについて(菱沼小和田田中自治会長) ○小和田小学校備蓄の防災備品を用いたこわだ会とコラボの防災訓練検討 ○「個別避難計画書の作成について」まち協研修会(11/30)のお知らせ ○避難行動要支援者支援制度に関する報告について
令和6年11月27日	第49回部会	○3/15(土)防災対策課主催の「みんなの防災展」について ○「個別避難計画の作成の取組と意見交換会の実施について」内容説明 ○小和田小学校備蓄の防災資機材を用いた防災訓練検討について ○こわだ防災 Vol. 15 発行について ○感震ブレーカーについて調査報告並びに意見交換
令和6年12月25日	第50回部会	○こわだ防災 Vol. 15 の配布状況についての確認 ○3自治会合同給水・放水訓練実施報告について ○感震ブレーカー設置調査について ○まち協賀詞交歓会(1/5)のお知らせ ○3/15(土)「みんなの防災展」展示内容の確認について
令和7年1月22日	第51回部会	○小和田小学校備蓄の防災資機材の点検・試運転について ○令和7年度防災部会開催の日程について ○令和7年度第9回安否確認訓練(6/22)・地区防災訓練(10/19)について ○感震ブレーカー次年度以降の対応について
令和7年2月26日	第52回部会	○小和田小学校備蓄の防災資機材の点検・試運転(2/22 実施)について ○高橋さん(松林小学校PTA代表)の「子ども防災リュック作り」体験談 ○次年度以降の資機材点検・整備等に関する対応及び検討 ○感震ブレーカー説明会開催の継続と啓発活動について
令和7年3月26日	第53回部会	○3/15(土)「みんなの防災展」報告及び次年度に向けた意見交換 ○令和7年度第24回小和田地区防災訓練企画案の検討 ○子ども防災企画案(子ども防災リュック作り・WS)の検討について ○若年層防災リーダー募集の検討について

		○3/9(日)開催の防災展(菱沼小和田自治会)実施報告
--	--	-----------------------------

(5) こわだみらい部会

日 付	会議の名称	主な内容、出席者等
令和6年6月7日	第13回部会	○休会に関する話し合い

2 各種会議を除く事業（市民集会・防災訓練など）

日 付	事業名	内 容・実施体制・参加者数
約半年に1回	広報紙発行事業	次頁以降記載
令和6年4月～	東小和田交差点での自転車啓発活動	次頁以降記載
令和6年9月23日	草あつめ～通学路をキレイに～	次頁以降記載
令和7年2月8日	市長と語る会	次頁以降記載
令和6年11月30日	ゾーン30キャンペーン	次頁以降記載
令和6年6月・10月	安否確認訓練・防災訓練の企画立案	次頁以降記載

〈概要〉 協議会で実施した事業等の情報について周知を図る目的として年３回発行しているが、今年度は「小和田地区まちぢからニュース５７・５８号・５９号」の３回に加えて、「市長と語る会特集号」を発行した。５７号では地区で文化・スポーツ活動をする個人や団体を特集、５８号ではまちぢから協議会の活動やチャレンジパーク赤松の看板紹介、５９号では自治会活動特集号としてそれぞれ発行した。

小和田地区まちぢからニュース５７号＝６，０００部　Ａ３　８頁折り
小和田地区まちぢからニュース５８号＝５，５００部　Ａ４　４頁折り
小和田地区まちぢからニュース５９号＝５，５００部　Ａ４　８頁折り
市長と語る会特集号＝５，５００部　Ａ４　両面２頁

[illegible]

令和6年度 小和田地区まちから協議会名簿 2024.07現在

役職	氏名	所属団体
会長	高橋 隆雄	協議会本部 (小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会 会長)
副会長	三浦 一希	香川県商工大会連合会
幹事	宇山 博	協議会本部 (プロフェッショナル経営者ネットワーク協議会)
書記	大野 久美子	協議会本部 (香川小和田自治会)
会計	川原 真清	協議会本部 (香川小和田自治会)
総務	日比 浩典	協議会本部 (香川小和田自治会)
総務	小林 聡史	協議会本部 (香川小和田自治会)
総務	香山 隆	協議会本部 (香川小和田自治会)
香田 幸子	協議会本部 (香川小和田自治会)	
山田 悦久	協議会本部 (香川小和田自治会)	
中田 誠治	小和田地区民生委員生活福祉協議会本部	
鈴木 博樹	松山経済団体連合会代表 (社) 任意型CUIビルディング代表	
山下 寛人	小和田地区民生委員生活福祉協議会本部	
長岡 孝	協議会本部 (香川小和田自治会、小和田地区自治会連合会本部)	
監事	木崎 昌彦	木崎昌彦会
安良岡 謙史	香川小和田自治会	
田中 茂	香川小和田自治会本部	
竹内 文雄	香川小和田自治会本部	
山口 孝一	プロフェッショナル経営者ネットワーク協議会本部	
赤池 直行	協議会本部 (香川小和田自治会)	
賀藤 康子	小和田小中学校青少年健全育成推進協議会本部	
五十 智子	小和田小中学校に代表者	
協議 隆子	香川小和田自治会本部 (香川小和田自治会)	
山井 幸雄	松山経済団体連合会代表 (香川小和田自治会)	
藤本 光子	香川小中学校PTA代表	
鈴木 富雄	松山小中学校PTA代表	
山口 寛	香川小中学校に代表者	
栗本 真直典	協議会本部 (香川小和田自治会)	
浅藤 亮	公明党 (香川小和田)	
新 晋夫	公明党	
代表幹事	杉本 真太郎	代表小和田協議会本部

第58号

令和7年2月8日（土）小松田地区こまつに会

撮影：吉山広治市長

皆さま、こんにちは！小松田地区まちぢか協議会です。先月8日（土）に「市長と語る会」を開催しました。今回は多くの皆様で、今年度も「子どもと高齢者の関係・雇用・観光」をテーマに、小松田地区在住の子ども達や世代別の7つの質問を投げかけられました。

当時は長閑な時間というアクアランドで静かに暮らさねえ。結婚する前・新婚生活、竹槍競技のおもしろいところまで知ることができました。開演にあたり、アンケートに答えてくださってくださった皆さんへ、感謝の言葉を。当日は騒々しくなった会場でしたが、お話を聞かせていただきありがとうございました。とても貴重な機会になりましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます！

～第1部の様子～

左から、
尾崎純夫市長の挨拶
三浦市市民自治推進課長
からの招待状読み
前巻の報告
（広報課浅井達士）

立小松田地区まちぢか協議会 構成団体様
校側の方、農業者、交通安全対策、防災訓練、防犯協会、防衛協会、商店会連合会（日本酒協会の、米歩協会の、米穀商組合、米穀組合）、東北和食振興会、ブランド肉・豚肉研究会、畜産組合、小松田地区こまつに会
ニエーター管理運営委員会、小松田地区民生委員児童福祉協議会、小松田地区社会福祉協議会、小松田地区青少年支援センター、小松田地区少年少女育成推進協議会、小松田地区青年会議所、小松田地区中学校教育者・市民の会、小松田地区少年育成推進協議会、松林小学校PTA、松林小学校PTA・幼少子ごま会、公衆音楽、協議推薦義援会、茶々亭松林市民自治協議会

市長と語る会特集号

自治会活動と神楽舞

巻頭言

■地域へのぬくもりを大事に育てよう。(まちはちがひ協会 香山 隆)

栗原市子神社の御祭日(馬場)は、この地で大事に育ててきた子ども達への愛情を改めて感じる素晴らしい機会だ。

この創立とともに小さい頃の道に佇む守護神となっており、最近まで神社を取り囲むように人が広がり、そのお祭り・富士の盆祭りが、この地を彩り賑わうことが出来た。しかしながら、熊鷹の森や中田緑地により、近代的な風景に変化し、そこには昔はいづれ先祖がもたらした町がなくなり、そこに適った子ども達が育ちあふれるようになった。

この10年、小和田地区には立憲公園等の大規模な住宅開発が進み変わり、テラスモール仙台がまちどろい、藤沢保育園病院の新設、大槻横マシンの建築、おまけに立憲駅の大幅リニューアルと始まる電車の開業などにより、ここには近郊にならぬ賑わいを感ずることができる。

それだけに新しい街並み好きでいる人も増えている。

見れば、今や全国でもっとも安全な街のひとつといえるくらいになった。

あるいはいいことではないか！我が小和田地区は子どもたちの元氣な声と笑々しい父親の声が日に目につくところである。

昔から東海道を沿って、本郷・新館などの賑わいを保ち続けてこれには、幸なことと地区運動会、花火大会、消防の日などの多様なお祭りなども各地の方々の力で支えられていた。

地域には家庭ごとの相席や防衛ネットワークをつかさどる自治会、国つとみに相談できる社会福祉協議会などの福祉ネットワーク、そして子育て世代みんなの支援を受け持つ青少年健全育成推進協議会(関係者・保護者・市民)など、貴山の方々が日々守り立てられている。

新しくこの地に来られた方々もどうか(もっとぞ)貴族をもっと、地域の輪に入り込んでいただきたい事をわたしは待っています。

その集約として地域の発展活動と今年度の自治会活動の特集号で紹介することとした。

さあ、どうぞご覧ください。

第59号

(2) 東小和田交差点での自転車啓発活動

〈日 時〉令和3年4月～（毎月第3水曜日 午前7：30～）

〈概 要〉 辻堂駅近辺の開発に伴い、交通量が急速に増加した東小和田交差点において、自転車のマナー改善を目的に啓発活動を行った。

〈参 加 者〉 各回 約10名



(3) 草あつめ～毎日使う通学路をキレイに！～

〈日 時〉令和6年9月23日

〈概 要〉 今年度新たな取り組みとして、交通安全部会の主催で小和田小学校の通学路の草あつめを行った。学校とも連携を図りながら事業を実施し、多くの保護者と子どもたちが参加した。

〈参 加 者〉 約100名

(4) 市長と語る会

〈日 時〉令和7年2月8日

〈概 要〉 小和田地区が行政と未来について話し合う市長と語る会だが、今年度は子育て世代が主役となり、行政の理事者と意見交換を行った。子育て世代が直接行政と対話ができる、これまでにない事業を実施することができた。

〈内 容〉 子育て世代からの質問・意見7テーマについて行政の理事者と意見交換

〈参 加 者〉 39名（うち行政からの出席者7名）



草あつめ



市長と語る会

(5) ゾーン30キャンペーン

〈日 時〉令和6年11月30日

〈概 要〉 歩行者、通学児童、自転車等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて最高速度30キロメートルの交通規制を実施。辻堂駅西口付近で、通勤・通学途中の方々に向けてスピーカーで告知し、また、ゾーン30エリア内を歩いて啓発活動を行った。



(6) 安否確認訓練・防災訓練の企画立案

〈日 時〉安否確認訓練：令和6年6月23日

防災訓練：令和6年10月20日

〈概 要〉 地区自治会連合会が主催する安否確認訓練及び防災訓練について、防災部会が事業の企画立案を行った。安否確認訓練については、小和田小学校体育館を本部として自治会毎に情報集約を行った。防災訓練については、新たな形態で開催し、「広域避難場所避難訓練」と称し、自治会毎に設定した一時避難場所から広域避難場所に避難する訓練を行った。

〈参加者〉 総勢162名



安否確認訓練



防災訓練

令和6年度 小和田地区まちぢから協議会収支決算書

収入の部

項 目	予算額	決算額	内 訳
補助金（市より） 運営等助成金	250,000	250,000	運営費等助成金 250,000円
補助金（市より） 特定事業助成金①	285,000	285,000	「まちぢからニュース」発行事業費 285,000円
合 計	535,000	535,000	

支出の部

項 目	予算額	決算額	内 訳
運営費（本部＋部会）	【本部】		
	事務消耗品費	10,000	15,447 事務用品、消耗品
	会議費	10,000	3,964 会議費
	印刷製本費	25,000	52,578 印刷・コピー
	通信運搬費	3,000	0 切手代
	事業費	25,000	35,436 保険料、市長と語る会特集号発行費等
	負担金	10,000	10,000
	旅費交通費	15,000	3,040 まちぢから協議会連絡会研修会交通費
	研修費	5,000	0
	その他	7,000	0
	小計（本部）	110,000	120,465
	【部会】		
	交通安全部会	30,000	21,668 事業費、備品費
	広報部会	55,000	77,750 印刷・コピー、まちぢからニュース58号・59号印刷費
	防災部会	10,000	1,070 印刷・コピー
	こわだみらい部会	30,000	0
	予備費	15,000	0
	小計（部会）	140,000	100,488
運営費合計（本部+部会）		250,000	220,953
特定事業費①	委託料	275,000	275,000 まちぢからニュースKOWADA57号（特集号）印刷費
	予備費	10,000	440 振込手数料
特定事業費合計		285,000	275,440
市への返還金	運営費等助成金 返還金	0	29,047
	特定事業助成金 返還金	0	9,560
	市への返還金 小計	0	38,607
合 計		535,000	535,000

令和7年4月10日

前年度の活動報告書及び収支決算書

令和 7 年度小和田地区まちぢから協議会事業計画

1 茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に係る事務について

- (1) 各種提出書類の作成
- (2) 認定コミュニティ助成金（運営事業助成金・特定事業助成金）の申請に係る事務

2 協議の場の創出に関すること

(1) 部会の開催

部会名	令和 7 年度	計 画
交通安全	昨年度活動の継続実施	・ 東小和田交差点での自転車安全運転啓発活動の継続 ・ 通学路の合同点検 ・ 草あつめ
広報	まちぢからニュース特集号を特定事業助成金で発行する。	・ まちぢからニュースの発行。 60号（7月下旬） 61号（12月下旬） 62号（年度末）（特集号：まち協10周年の振返り） ・ 小和田まち協ホームページの全面リニューアル。
防災		・ 安否確認訓練メニューの立案と提案の実施 ・ 防災訓練メニューの立案と提案の実施 ・ 防災関連情報の共有と発信
こわだみらい		・ 休会
子ども（仮称）	新たに令和 8 年度からの部会化を目標に検討する。	・ 地域の子どもに関して以下のような課題が考えられるため、それについて検討後、委員会に提案して、地域全体の協力により実施対応していく。 [考えられる課題] コミュニティスクール、学童、親御さん不在時の防災対応、子ども食堂、フリースペース、市長と語る会質問事項等。

市長と語る会質問事項（主な子ども関連）

- ・ 公園の増設とボール遊びができる公園の確保について
- ・ 災害時における子ども一人での避難について
- ・ ふれ合い補助員とコミュニティスクールについて

3 事業に関すること

令和 7 年度 小和田地区まちぢから協議会収支予算書

収入の部

項 目	予算額	内 訳
運営等助成金（市より）	250,000	運営費等助成金
特定事業費助成金（市より）	285,000	「まちぢからニュース（特集号）」発行事業費
合 計	535,000	

支出の部

項 目	予算額	内 訳
運営費（本部＋部会）	【本部】	
	事務消耗品費	15,000 事務用品、消耗品
	会議費	5,000 会議費
	印刷製本費	40,000 印刷・コピー
	通信運搬費	2,000 切手代
	事業費	38,000 保険料、市長と語る会特集号発行費等
	事務作業手当	10,000 事務作業に伴う手当
	旅費交通費	5,000 まちぢから協議会連絡会研修会交通費
	研修費	0
	その他	5,000
	本部小計：	120,000
	【部会】	
	交通安全部会	30,000 活動継続取組み対応用 印刷・コピー
	広報部会	75,000 広報紙60号/61号発行、ブログ使用料、印刷・コピー
	防災部会	10,000 印刷・コピー
	こわだみらい部会	0 休会
	子ども部会（仮称）	10,000 情報収集、印刷・コピー
	予備費	5,000
	部会小計	130,000
	運営費小計	250,000
特定事業費	委託料	275,000 まちぢからニュース特集号（第62号）発行事業費
	予備費	10,000
	特定事業費 小計	285,000
市への返還金	運営費等助成金 返還金	0
	特定事業助成金 返還金	0
	市への返還金 小計	0
合 計		535,000

特定事業の概要（小和田地区・広報発行事業「まちぢからニュース」）

小和田地区「まちぢからニュース」は第1号を平成26年2月1日号として創刊以来、現在は4ヶ月に一度のペースで発行している。

当初はまちぢから協議会の事務局からの告知活動として、A4の白黒印刷で、自治会回覧としていたため経費もほとんどかからなかった。令和2年6月15日発行の第48号を機会にA4のカラー両面印刷とし、内容もまちぢから協議会の部会活動や各自治会活動に記載内容を充実し、全面カラー印刷の全戸配布とした経緯がある。

令和4年度からは特定事業助成金を活用し、年間のまちぢからニュースの集大成として、記事内容やビジュアル等を更に充実させた「まちぢからニュース」特集号を発行している。

本事業は、令和4年度に発行した「まちぢからニュース」特集号（55号）の第2弾として発行するものである。

今回の企画では、地域で文化・スポーツ活動をしている個人・団体を中心に取材し掲載しており、小和田地区内で増加傾向にある若い世代にも親しみやすい内容となっている。

特定事業実施報告書（小和田地区・広報発行事業「まちぢからニュース」）

事業の実施内容	活動内容	小和田地区にて発行している「まちぢからニュース」57号にて、昨年度に引き続き、まちぢから協議会の広報活動を総括する特集号を作成した		
	活動期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで		
	実施体制	広報部会にて企画・取材編集・印刷作業を委託	周知方法	小和田地区住民に広報誌を配布
	参加者数	広報発行対象 6,000世帯	実施日	57号 4月15日発行
事業の目的や効果は達成できましたか	ターゲットを子どもと小学校などに通う子どもと父兄に絞り、地域に馴染みやすいスポーツ団体の紹介と子育て応援の団体を紹介した。配布はこれらの団体にも積極的に配布したため6000部が残らず配布できた。地域の一員として「まち協」が応援してくれていると実感を与えられたのではないかと考えている。			
事業を計画的に実施することができましたか	広報誌掲載者の選定やインタビュー等に時間を要し、原稿作成が計画より若干遅れてしまった。 計画が甘く、もう少し、原稿作成を早く完成すべきであったと反省している。			
予算計画や予算配分は適正でしたか	今や、ネット印刷が主流になりつつあるが、編集や印刷を地元印刷業者に委託して発行した。広報部会では記事およびレイアウトに専念し、その後業者と調整を重ね紙面が完成した。業者と連携することで高品位を保つことができ、より多くの地域住民に親しんでいただけたため、適正な予算配分であったと感じている。			

事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか	事業実施にあたっては、広報部会での検討のみならず、小和田地区まちぢから協議会定例会などで事業の説明を行うなど、紙面について各種団体からの意見収集に努めた。
一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか	記事を寄稿した団体からは、自分たちの活動を紹介できることに喜びの声や感謝の声があがっており、原稿作成に携わることにに対して意義を感じていた。
事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか	広報紙掲載者へのインタビューを広報部会員自らが行うことで、そこから交流が生まれ、地域コミュニティの醸成につながった。 今回の誌面を見て改めて、老人主体の地域活動を見直す方向が出てくることを期待している。
課題と今後の展望について	今回の広報誌の記事募集においては、体育振興会、推進協、PTA 等組織の協力を得ることでスムーズな取材先発掘が期待できたが、広報部会単独で取材にあたることとなり、連携面で課題が残った。 今後は各種団体との連携協力体制を構築して事業を進めていきたい。

収支決算書

収入

科 目	予算額	決算額	内 訳
補助金	285,000	285,000	認定コミュニティ特定事業助成金
計	285,000	285,000	

支出

科 目	予算額	決算額	内 訳
委託料	275,000	275,000	印刷依頼 6,000部 第57号＝部（全戸配布）A3・8頁 （税込275,000円）
予備費	0	440	振込手数料
市へ返還	10,000	9,560	
計	285,000	285,000	

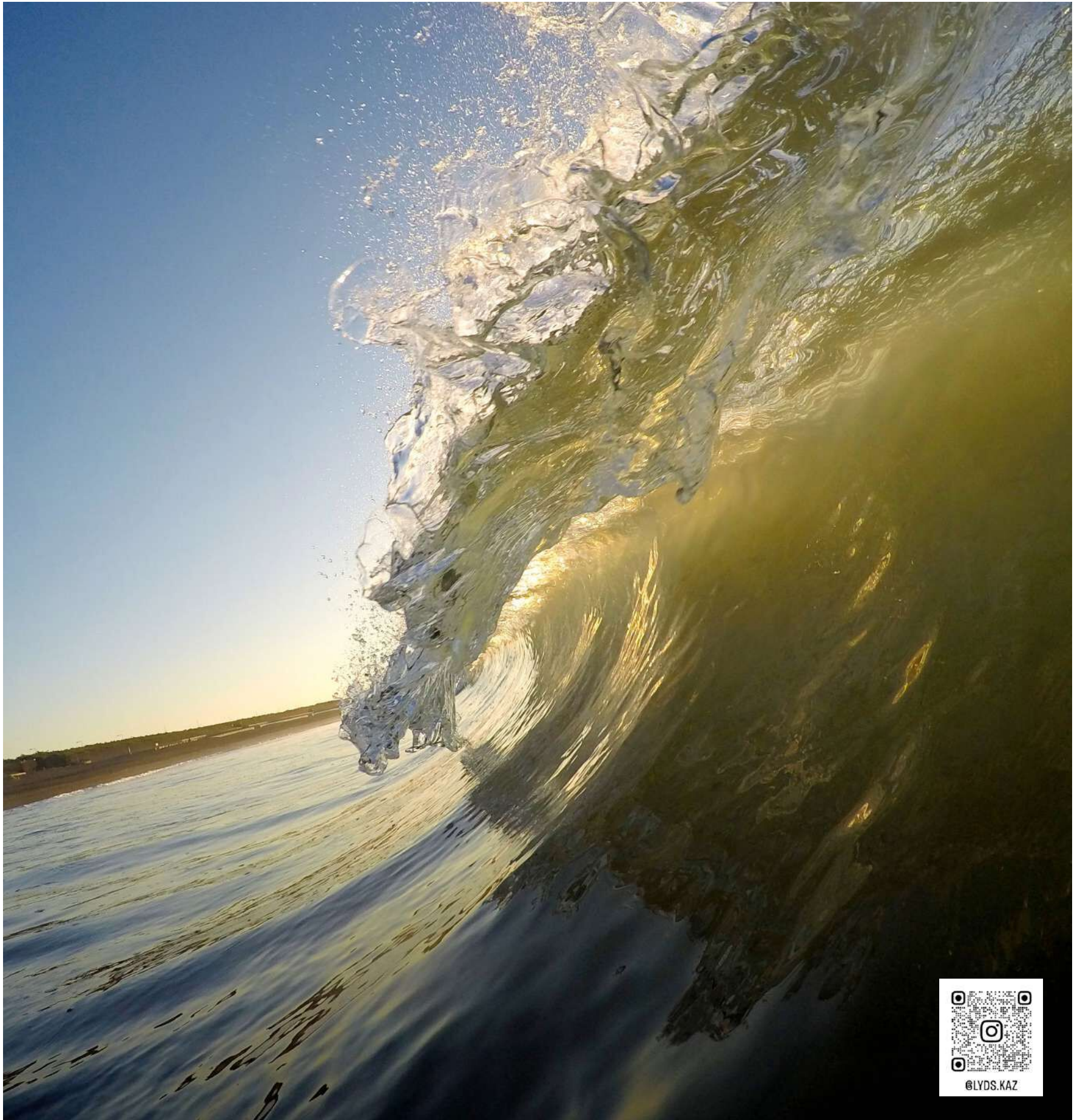
＊対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来る必要があります。

小和田地区まちぢからニュース

KOWADA

2024.春

57
号



「金龍」 撮影：三浦一浩

巻頭言

辰年ということで選定しました表紙の写真は、湘南の波に現れた黄金の龍です。プロのフォトグラファーでもある私が、加工合成禁止の世界的なコンテストで審査を受け、受賞したことでモリアルであることは保証されていますが、辰は十二支の中では唯一架空の生き物とされています。しかしながらここまでの姿を見せられると、昔の人は見えていたのではないかと思います。その場において感じ、目にした者にしか判らない!?

まさに今、赤松町自治会会長を務め感じている事も同じで、子育て世代でないと気付けないこと判らない事も多く、私の背中で若い世代へ魅力と関心を示していけないかと奮闘中です。

2ヶ月間毎朝通学路の危険な路上駐車を調べたり、不法投棄のあるゴミ捨て場で毎朝立って調査、走り回り大変な事も多いですが、嬉しいことに自治会活動が身近になったと言われる事が増えています。地域の輪も広がり、先輩方にも可愛がっていただき、人と人との繋がりが防犯、防災にも繋がって来ている事も実感しています。外に出ると皆様からお声がけいただけ、なかなか目的地にたどり着かないという嬉しい悲鳴も…。

しかしそんな皆様との出会いが何よりも私が地域活動で得た宝です。この暖かい小和田地区が皆様の誇りであり続けますように。

赤松町自治会 会長 三浦 一浩

多くの人の繋がりの中で

川原 葉月 小和田まちぢから協議会・会計
出身地：和歌山県 茅ヶ崎在住：15年

この小和田地区には主人の転勤をきっかけに引っ越し
て来ました。子どもが生まれ、子どもたちが幼稚園、
小学校と育っていく中で、こわだ会（元PTA）の繋がり
から地域に繋がり、まちぢから協議会やボランティアに
も参加させてもらっています。



沢山の友達や知り合いも増え、まだ名前も覚えてい
ない方もいますが、ボランティアでは皆さんとお喋りを
しながら草取りをしたりとても楽しいです。色々な場所
で色んな方の思っている事や、やろうとする事を聞
くうちに、多くの人の繋がりの中で成り立っているんだ
なと感じます。子どもたちにとっては大事な交通安全
や地域に繋がる防災にとっても興味があり、真剣に、
そしてできるだけ周りの声を聞き、助けてもらいな
がら楽しく参加していきたいと思っています。

先日、防災に関しての会議に参加させてもらいま
したが、災害が起きる前に地域の中で人と人が繋が
っておく事は凄く大事だと思いました。

学校の保護者の方や子どもたちと“何かできないか
な”と思っています。
今、3人の子育ても私の中ではとても大事でやり
甲斐がある時ですが、地域の皆さま、これからどう
ぞよろしくお願いいたします。

できる範囲で楽しく活動

大野 久美子 小和田小学校こわだ会・令和5年度代表
出身地：東京都 茅ヶ崎在住：15年

小和田小学校の旧PTA団体「こわだ会」で校外委員
になって5年目になろうとしています。校外委員はそ
の名の通り「学校の外と繋がる」活動を担っています。
そこらご縁あって、地域の会議や活動に参加させて
もらっています。



活動に参加すると「子ども達が、日々たくさんの方
に見守られている」ことがよくわかります。私は子育
て世代。仕事もあり、毎日があっという間に過ぎてい
くので活動にフル参加できていません。その時々
の都合を尊重してもらい、「できる範囲で」「楽しく」
活動させてもらっています。世代が違う方も多いので
最初は構えていた部分もありましたが、今は、遠く
から見つけたら手を振る間柄になれた方がたくさん
います。勉強になることもたくさんあるし、同年代の
仲間もいます。

自分が今住んでいるこの場所を、子ども達がこれ
から先もずっと住み続けたい、また、大人になっ
ても帰って来たいと思える地域になったらいいな！
そんな気持ちで活動しています。ご興味ある方、一
緒に活動しませんか？

最後に、見えないところ、知らないところでこの
小和田地区を支えてくださっている皆さまには感謝
の気持ちでいっぱいです。これからも、自分の
できることで活動に参加していきたいと思っています。

「会社貢献」から「社会貢献」へ

森岡 正士 出身地：島根県江津市 藤沢市辻堂在住8年 62歳

大手金融機関で30年以上、株式・債券・為替など、
海外の資産運用業務を担当して、2022年に60歳
で定年退職。早期の退職を選んだのは、これまでの
「会社・貢献」から、「社会・貢献」にシフトして
“誰かのお役にたたい”という思いから。だから
YU-ZUルームのボランティアも買って出て、毎
週金曜日の午後から夜にかけて管理室に座ってい
ます。当番中は、空手道場の子どもの掛け声に、
たくさんの元気をもらっています。



また、熟年結婚の私は、妻が開いた結婚相談所
のバックアップにも入りました。妻との出会いも
ご縁、辻堂に移り住んだのもご縁、そしてYU-ZU
ルームでも、たくさんのご縁に恵まれて楽しい日々
です。

毎週金曜日の午後に管理室に見かけたら、お気
軽にお声がけください。辻堂に住んでまだ8年、
いろいろ湘南ご当地情報を教えていただけたら
嬉しいです。また資産運用や婚活・ご結婚にご
関心がある方は、これまたぜひお気軽にお尋ね
ください。YU-ZUルームから「ご縁の輪」を
広げていきましょう！

還暦からの趣味再開

風岡 学 出身地：茅ヶ崎市赤松町（出生時は小和田3789）
茅ヶ崎在住：72年（20歳から5年間静岡県裾野市）

還暦を迎えた頃に、前々職の頃の友人たちとの
呑み会で、サイクリングの誘いがありました。私
自身、31歳頃に購入したロードレーサー「CH
ERUBIM」になんとか乗って約30年、その間
は仕事も忙しく、長距離を走ることは皆無で
した。誘いに乗って、車に「CHERUBIM」を
積み山中湖へ。待ち受けていた2名は立派な
サイクルジャージに身を包み、ヘルメットで
カーボンのロードバイクに乗っていました。私
は普段着でノーヘルメット。そこから忍野八海
までの往復30km程度でしたが、とてもキツ
かったことを覚えています。



須走にて

帰宅して、家の近くのバイク屋に行き、吊
してあったカーボンフレームの丁度良いサイ
ズのロードバイクを即購入し、ヘルメットや
ポンプ等必要な機材を買い求め、サイクリ
ングを再開し、現在に至りました。

現在はすっかりロードバイクにはまり、し
まなみ海道や琵琶湖、四万十川遡上等の輪
行によるサイクリングや、69歳で、自宅
～箱根～乙女峠～竈坂峠～山中湖～富士宮
～富士までの約150kmを走りました。



CHERUBIM 1983年製

72歳の目標は、Age mile distance
cyclingを目指し、72miles（約116km）
を走る予定です。

「誰かがしてくれるだろう」ではなく

原 康晋 菱沼小和田自治会

出身地：岐阜県岐阜市 茅ヶ崎在住：11年 44歳

私は、茅ヶ崎市に在住して11年になり消防
士として勤務しています。皆さんもご存じか
と思いますが、消防士という仕事は人の生命
に直面することが多い仕事です。約20年勤
務し、様々な現場で活動してきて感じたこと
があります。それは、より多くの方が大切
な人の命を守るために行動してほしいという
ことです。例えば、大切な家族、恋人、友
人が生命の危機に瀕した時に、咄嗟に動け
るような知識や技術を身につけて欲しいと
思います。実際に、地震などの広域で発生
した災害時には、すぐに消防車や救急車は来
ないと思ってください。災害現場に、向か
いたくても行けないことがあるということ
を知っておいてください。誰かがしてく
れるだろうという気持ちではなく、自助共
助の気持ちを常日頃から頭の片隅に入れて
おいて欲しいと思います。



小さな消防士さん

また、それは自治会活動にも通ずることが
あると最近になって思うようになりました。
自治会での清掃活動や防犯活動など、地域
の生活環境や安全を向上させるためには、
誰かが実施しなくてはいけないことで、自
分たちが知らないところで、ボランティア活
動してくれている方がいるおかげで、綺麗
な街で安全に暮らせているのだと思います。

自分達のためだけではなく、未来がある
子供たちのためにも、一人一人ができる範
囲で後悔することのないように、住みやす
い街作りに貢献していけたら最高ですね。

親子リトミック教室 花輪かおり どれみふぁリトミック 代表

2022年の1月からYU-ZUルームにてお世話になっております。どれみふぁリトミックは、0歳・1歳・2歳児の親子さんのクラスと幼稚園児3歳児・4歳児・5歳児クラスがあります。年齢ごとクラス分けをして活動しています。

私は幼い頃からピアノを習っていて音楽が大好きな子どもでした。それと同じくらい子どもも大好きで、保育士と幼稚園教諭の資格があり、幼稚園で働いていた経験があります。

我が子を出産するタイミングで幼稚園を退職したのですが、子育てする中で私自身が同じように子育てをするママたちと繋がりたいな！ママが集えるような場所があったら参加したいな！と思っていた時に「リトミック」に出会い、素晴らしい教育法だなと2人目妊娠中でしたが学校に通い資格を取りました。

2016年12月、次男がまだ0歳の時ではありましたが、ママ友から「リトミック教室開いてよー！」と声をかけていただいたことがきっかけで「どれみふぁリトミック」が始まりました。

このような活動も、2024年で9年目となります。今は月に2回平日クラスと週末クラスそれぞれ定期的に行っております。初めての子育てママや、引っ越してきたばかりのママも通いやすいとリピーターさんも多いです。「リトミックに来ることでママ友ができました」とか「生のピアノ音楽に癒されながら我が子と触れ合い遊びができるので、日頃の育児のストレスも忘れ笑顔で楽しめます」などなど保護者のみなさんもリラックスしてご参加いただいております。楽しいだけではなく発達に合わせた活動を通し、我が子の成長を感じることもできるお教室です。4月に体験会を行います。ぜひ遊びにきてくださいね。



花輪代表



どれみふぁリトミック

HP: <https://mosh.jp/doremifarythmique/home>

問い合わせ先

☎ 090-2945-8000 (花輪かおり)

✉ doremifa.rhythmique@gmail.com

@doremifa.rhythmique



遊び場は放課後の体育館 プラザ小和田

細谷美由樹 運営委員長

プラザ小和田は、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」の一環として、茅ヶ崎市から委託された、18年間の歴史を持つ団体です。放課後の安全・安心な遊び場として小和田小学校の体育館を活用し、学校・地域・保護者が協力し、児童の遊びをパートナーと呼ばれる大人が見守っています。

ボール遊び・おにごっこ・バドミントン等で体を思い切り動かして遊ぶ子ども、ぬり絵・おりがみ・ブロック等でコツコツ遊ぶ子ども、それぞれが好きな遊びを見つけながら過ごしてします。遊びに夢中になりすぎて、揉め事やけんかになる事もありますが、それも大切な遊びの要素と見守っています。

学年の壁を越えた遊びから子どもたちは生きていくテクニックを学んでくよう、低学年の頃は少し手間のかかった子が、高学年になる頃には小さな子の世話をしたり。そんな子どもたちの笑顔はパートナーの笑顔の素となり、大人も喜びを感じる場となっています。

子どもが好きな方、将来子どもに関わる仕事に就きたい学生の方、保護者の皆さま、パートナーとして一緒に活動しませんか？パートナーは随時募集しています！

プラザ小和田

学校給食のある月曜・木曜 14:50~16:50※(夏期)

学校給食のある水曜・金曜 15:30~16:50※(夏期)

※冬期は16:20に終了

開催日時の詳細は「プラザ小和田」ホームページ掲載のプラザカードでご確認ください。

問い合わせ先

☎ 070-3986-8087 (プラザ開設時間中のみ)

✉ plazakowada@gmail.com



子育てを楽しく！ママが笑顔の時間を！！

福正しのぶ 子育てサロン「こもれび」代表

2022年4月に、子育てサロン「こもれび」を始めました。コロナ禍の今、どうして？というお声もいただきましたが、地域のサロン、支援センターが休止しているコロナ禍の今だからこそ、「子育て」をしているママの居場所を作りたいと想いで始めた、ママのためのサロンです。

自分の子育てを通して、ママの笑顔が増えることは、子どもにとっても幸せな時間が増えることだと感じていました。「こもれび」では、ママたちがリラックスしておしゃべりを楽しめる居場所作りを心がけています。子どもたちにも自由にのびのび遊んでほしいので、あれダメ！これダメ！という制限はなるべく無くして、安心して遊べる環境作りをしています。



「こもれび」は、ママと未就園児のお子さんが来て下さることが多いのですが、ここに地域の方が来て下さると良いな…と思っています。核家族化の今、ママやパパだけでの子育てが中心になっていますが、子どもにとって沢山の人の関わり、育つことも大切な経験です。大先輩ママやパパから今と昔の違いも含めて、子育ての話、地域の話をお聞かせいただけることは私たちママにとっても大きな学びです。

「こもれび」が、そんな地域の居場所になったらいいな…と思っています。そして、地域の方と一緒に子どもたちの成長を楽しみ、見守っていけるような温かな小和田地区であってほしいと願います。

「こもれび」では、寝かしつけ名人や遊び上手な、ばーばやじーじのボランティアを随時お待ちしております！



福正代表

子育てサロン「こもれび」

問い合わせ先

✉ garden.komorebi2022@gmail.com (福正しのぶ)

遊び場は放課後の体育館 プラザ松林

渡辺富美子 運営委員長

プラザ松林は、松林小学校に通う学童が対象となり、子どもたちの安全、安心な遊び場として、放課後の体育館を開放した遊び場です。パートナーと呼ぶスタッフ、保護者や地域の方常時3人が、子どもたちの遊びを見守っています。

茅ヶ崎市青少年課からの委託事業で、学区の学童への遊び場を提供、また異年齢の子どもたちの交流を目的とし、プラザ松林は平成15年の秋に解放しました。



学校施設内ということで、校長先生、教頭先生及び諸先生方のご理解とご協力をお願いしています。

プラザ利用においては、入学時に松林小学校児童はプラザ利用の有無にかかわらず全員参加登録し、全児童が保険に加入します。参加する児童は一度帰宅して、プラザカードと体育館履きを持って遊びに来ます。遊具はプラザ用に用意されたもの

を使用します。各種ボール、バドミントン、なわとび、バスケットボール等が人気です。ゲーム機やカード類では遊べません。学校行事の一年生保護者懇談会にも対応し、年に数回、楽しいイベントも企画して楽しんでいます。

プラザ松林

月曜日～金曜日 15:30~17:00 (10月~2月は16:30まで)

長期休校日 (夏休み・秋休み・冬休み・春休み)・祝祭日及び学校使用日は休み

問い合わせ先 ☎ 070-5570-9344

野球を通じて「行(考)動力」のある人間へ

稲葉育穂 ムーンスターズ 代表

ムーンスターズは、年中から小学6年生までの幼児・児童を対象に編成して小和田小学校をメインに活動する学童野球チームです。2022年に創立50周年を迎えました。無事に50周年を迎えられたのも、地域の皆様のご理解・ご協力があったことです。昨今の学童野球事情としては、選手不足によりチームを存続させるのが難しく解散してしまうチームも多いですが、幸いなことに継続的に選手も入団してくれています。今の子ども達は私達の時代と違い、習い事の選択肢も多く様々なスポーツを掛け持ちする選手も多いです。特に野球に関しては、他のスポーツよりも厳しい、保護者の負担が大きいというイメージを抱かれがちです。令和時代において、学童野球の在り方は昔と随分変わってきていると感じています。



稲葉代表



私達が選手に学んでほしいことは、個人競技ではない集団競技での「行(考)動」です。社会に出たときに「行(考)動力」がある人と無い人では、課題を解決する力も差があると思います。上手い・下手ではなく、野球を通じて人として成長してくれるのが一番です。

学年問わず選手はまだまだ募集中ですのでお気軽にお問合せください。



ムーンスターズ
練習場所：小和田小学校グラウンド・小出暫定スポーツ広場など
練習時間：8時40分～16時（冬季は15時まで）
活動日：主に土・日（詳細はHPスケジュールをご確認ください）
HP <https://moonstars.89dream.jp/>
問合せ先：（HP内）<https://moonstars.89dream.jp/modules/contact/>



チームのテーマは「凡事徹底」

野上 浩 小和田ミニバスケットボール少年団 代表指導者

香川ミニバスを指導していた私が、1989年に小和田小学校教員として着任し、当時の茅ヶ崎市内のミニバスチームが少なかったので、2年後の1991年に結成しました。その後、着々と力をつけ、関東大会や県大会への出場、茅ヶ崎市大会の優勝など、数々の栄光も手にしました。コロナによる活動規制で30周年記念イベントが出来なかったのが、昨年は32周年イベントを行い、卒団員、現団員、保護者を入れて総勢200名ほどの参加者で旧交を温めると共に、小和田ミニバスの歴史に触れる機会となりました。「凡事徹底」をチームのテーマとして、何事にも一生懸命に、そして、当たり前の事を普通にやろうと、火・水・土曜日の週3回17～19時に練習を頑張っています。また、小和田小学校の児童だけでなく、明治小や羽鳥小、八松小など、近隣の小学校からの入団も多く、昨年のクリスマス会では50人を超える人数でゲーム等を楽しみました。今では指導者も増え、1・2年生が参加する土曜日の練習には、低・中・高学年に分かれて練習をしています。体験や見学も土曜日に受け入れていますので、小和田小学校体育館に気軽に見に来てください。





小和田ミニバスケットボール少年団
練習場所：小和田小学校体育館 練習時間：17時～19時
活動日：毎週 火・水・土曜日
問合せ先：☒ toshimitsusole@i.softbank.jp（山崎俊充）

サッカーを通じて「自主性」「協調性」「思いやり」を育む

広石和憲 茅ヶ崎小和田FC 統括指導者

我々「茅ヶ崎小和田FC」は、小和田地区を中心としたエリアの12歳以下（園児～小学6年生まで）の少年少女で構成しているサッカークラブです。弊クラブは、サッカーの技術を教えるだけではなく、サッカーというスポーツを通じて「自主性」「協調性」「思いやり」を育んでいきたいという理念のもと活動しております。まずは練習に体験参加（無料）いただき、クラブの雰囲気を感じてもらえたらと思います！



なお、弊クラブからは2024年現在で3名のプロサッカー選手を輩出しております。地元小和田FC出身の選手に、盛大な応援をお願いいたします！
【横浜Fマリノス】白坂楓馬選手／【湘南ベルマーレ】根本凌選手／【横浜FC】小倉陽太選手



茅ヶ崎小和田FC
練習場所：小和田小学校グラウンドなど
練習時間：HP参照ください
活動日：毎週 水・木・土曜日 週末に練習試合や各種大会など
HP <https://kowadafc.jimdofree.com/>
問合せ先：☒ chigasakikowadafc@gmail.com



楽しく力を合わせて練習しています

安良岡靖史 松林ミニバスケットボール 監督

松林ミニバスケットボールは、松林小学校でバスケットボールの練習をする小学生のチームです。団員の子もたちは松林・室田・松浪の各小学校に在籍しています。毎日の生活では一緒に活動することはないですが、バスケットを通して1年生から6年生まで楽しく力を合わせてバスケットの練習をしており新しい友達がたくさんできています。試合ではシュートを決めると嬉しいのですが、バスケットリングの高さは260cmありますのでシュートは難しいです。そのため、リングに近いところや離れたところからのシュート練習に取り組んでいます。また、守りをがんばれば一転して攻撃することができシュートを決めれば得点になります。一人では攻撃を防ぐ守りが難しい場面がありますのでチームのメンバーが協力して守ります。練習ではみんなで声を出しながら、お互いに協力した守りを目指しています。このような練習の他にチームの行事として、みんなが楽しめる夏と冬のお楽しみ会、クリスマス会、親子バスケット会など学年を越えて楽しむ行事も行っています。





松林ミニバスケットボール
練習場所：松林小学校体育館 練習時間：17時～19時
活動日：毎週 木・土曜日・隔週 火曜日
体験を希望される方は下記のホームページをご覧ください。
HP <https://shorinminibasketball.wixsite.com/shorinmb>
問合せ先：☒ shorinminibasketball@gmail.com



サッカーの楽しさ、奥深さを伝えたい

谷 宗親 FC松林ジョーズ 代表者

「FC松林ジョーズは茅ヶ崎市立松林小学校の子どもたちを中心に活動している少年少女サッカーの団体です。松林小学校のグラウンドをお借りして練習や対外試合に臨んでいます。

創立は1995年、Jリーグが発足してサッカー熱が高まりを見せていた時でもありました。子どもたちにとって一番参加が容易な通学地域の小学校で、いつもの仲間と一緒にサッカーに親しんでもらいたいとの願いを持って組織を立ち上げました。茅ヶ崎サッカー協会の4種委員会（少年少女の部）には13の少年団が参加していますが、2番目に後発の団体になります。

子どもたちにサッカーの基礎的な技術とゲームの基本を指導していますが、何よりもサッカーの楽しさ、奥深さを伝えたいと考えて指導に当たっています。そして、少しでも長くサッカーと共に過ごして欲しいと願っています。

週2回の練習に加え、土日祝日には学校以外の地域のグラウンドでも活動しています。それらに加え、保護者の協力もいただいて、「親子サッカー」や「キャンプ」「合宿」「卒団式」等の行事も実施しています。

より多くの地域の皆さんと一緒にサッカーを楽しめたらと思っています。」





FC松林ジョーズ
練習場所：松林小学校グラウンド
練習時間：16時～17時または18時
活動日：火・木・土日祝
@fc_shonan_jaws
問合せ先：✉ fc.shorin.jaws.contact@gmail.com



団員の心身の成長と育成に努力しています

内田芳久 松林ベースボールクラブ 代表者

弊団は10年前に松林小を拠点とするキングアローズと室田小を拠点とするブラックサニーズが合併し結成されました。現在も多数の小学校から団員が集まって元気に活動しています。スポーツ少年団に所属しており指導者の育成や野球以外のイベントも通じて団員の心身の成長と育成に努力しています。

弊団は数年前から保護者様の過当番を廃止、活動時の関わり方は保護者様のご都合に合わせてお任せしております。土日祝の活動となりますがご家庭の行事や他の習い事・塾など優先していただき、参加できる日だけでも問題ありません。

団費は入会金等は無く1,000円/月、ご兄妹は月500円/月となります。まずはお気軽に見学・体験していただければと思います。

詳しい内容は下記ホームページをご覧ください。





松林ベースボールクラブ
練習場所：松林小学校 赤羽根広場 円蔵広場
(週によって活動場所・練習時間は変わりますのでホームページよりお問い合わせ下さい)
HP <https://sbc.89dream.jp/>
問合せ先：<https://sbc.89dream.jp/modules/contact/>



次世代を担う子どもたちの活躍は、地域全体の活性化につながります

藤崎直哉 未来のアスリート育成教室「ランフォーム・ランニングスクール」代表



出身地：茅ヶ崎市菱沼
茅ヶ崎在住：36年 40歳

私はランニングとロードバイクの複合競技・デュアスロンをメインに、スポーツ選手として活動してきました。日本代表として世界選手権に4度出場し、現在はトレーニングの継続と指導に携わっています。

この地区には陸上クラブや正しい走り方を教わる機会がないこともあり、競技活動で経験した技術や知識を地域スポーツに還元できればという思いで、ランニングスクールを立ち上げました。ここでは地域の子どもたちに向けたかけっこ教室や、市民ランナーへの指導を行っている他、出張授業として県内外の小中学校・公民館・クラブチーム等でスポーツ講演やかけっこ授業を実施しています。

今年度は生徒さんの走りも飛躍的に向上し、市大会優勝や県大会での上位入賞など、輝かしい成績を収めるお子さんが増えてきました。次世代を担う子どもたちの活躍は、地域全体の活性化に



つながるので、小和田地区をはじめとした地域に眠る未来のアスリート育成や運動能力向上、健康増進という社会的観点から、地域スポーツの活性化に取り組んでいます。

スポーツ庁の掲げる部活動の地域移行が進み、各地域もこれまでとは異なる対応が求められます。子どもたちがスポーツを始めたり継続できる環境の受け皿として、引き続き本活動に尽力いたします。



未来のアスリート育成教室
「ランフォーム・ランニングスクール」
HP <https://runform.jimdofree.com/>
問合せ先：✉ murasaki5000@yahoo.co.jp



ファミリーバドミントン教室開催中

吉原敏明 松林地区体育振興会 会長

ファミリーバドミントンって知っていますか？ ニューススポーツの一つで体育振興会では毎週日曜日12時から14時まで、小和田小学校体育館にて教室を開催しています。

バドミントンのコートを使用し、ラケットはシャフトが短く、打ちやすいこと。シャトルではなくスポンジボールに羽根が付いたものを1チーム3名（前衛1・後衛2）で2回以内に打ち返します。サーブはアンダーサーブ、スマッシュ（打ち込み）禁止というものです。バドミントンを現役でやっている方には少しもの足りないと思いますが、ラリーが続くので面白いのです。振興会では自治会対抗競技として、市では体育振興会対抗競技として大会を開催しています。

中学生以上シニアまで幅広い年齢層の方々が楽しんでおられます。百聞は一見にしかずです。小和田小学校まで来て見ませんか。用具はお貸ししますので、運動のできる服装と体育館履き、タオル・飲み物をお持ちください。ルールは簡単です。プレーをしながら覚えてください。レッツ・スポーツ！



吉原会長



ファミリーバドミントン教室

場所：小和田小学校体育館

※学校行事等で日曜日に体育館を使用できない場合があります。

活動日：毎週 日曜日 練習時間：12時～14時

問合せ先：☎ 0467-51-2032（小澤）

スポーツ吹き矢で健康力UP 土屋洋文

出身地：茅ヶ崎市本宿 茅ヶ崎在住：79年 79歳

ベーゴマ、メンコ、風揚げなど懐かしい日々を思い出す中で、吹き矢も楽しい遊具だった。しかし、今や“スポーツ吹き矢”として健康な日々を手助けするスポーツに変身。とはいっても吹き矢の大きさは長さ1.2メートルで10メートル先の標的に命中させると聞くと、ふと正月に行われる京都・三十三間堂の通し矢を思い出す。腹式呼吸と胸式呼吸を併せ、気持ちを集中して息を吹くので、その集中力と精神力がポイントで、これが健康力の源。

平穏な日々を暮らしてきたサラリーマン生活に突如奥様のご病気で自宅介護に日々となり、奥様とお母さまを相次いで亡くされた。かなりつらい日々が続いた後、ご自身も病気に侵された中、リハビリでスポーツ吹き矢の楽しさを覚え、夢中になりながら腕を磨いていった。



第4回スポーツ吹き矢全日本選手権大会10M男子の部優勝

2008年に神奈川県大会優勝、2015年には全日本選手権での優勝との実績をお持ちで、しかも今でも全国への教育にも力を注ぐ。一方、会社時代のマネジ

メント能力をいかに発揮し、小和田のボランティアセンターの立ち上げも行った。自らの介護の経験が、一人で抱え込まずほかの人に手を差し伸べてもらう大切さを知っているからこそ、ボランティアセンターの役割に重要性を思う。

スポーツでの更なる研鑽を目指す明るい姿は、どこかしっかりした航路を迷わず進む大型船に見えるのが羨ましい。



スポーツ吹き矢

HP <https://sports-fukiya.jp/>

問合せ先：☎ 0467-51-5898（土屋洋文）



HP

自分のペースでのんびりヨガができる場所

大川美和子 ヨガサークル 代表

出身地：北海道根室市 茅ヶ崎在住：11年 34歳

出産を機にヨガを始めました。元々運動することが好きでヨガもアーサナ（ヨガで行うあらゆるポーズのこと）の練習が好きで始めましたがもっと深く学んでみたいと思い、“全米ヨガアライアンス200”を取得しました。取ったばかりの頃は「どんなヨガを私が教えられるのだろう」「私よりすごいヨガの先生はたくさんいるし…」等考えていた時期もありましたが、シエリアマンションでサークル活動を募集しているとのお知らせがあり、誰かに教えることができるチャンスだと思い応募し、ヨガサークルを作ることが出来ました。

最初は教えることに苦戦したり、どう伝えたらわかりやすいのだろうと考えたり、コロナ禍になったタイミングではオンラインでヨガを教えることの難しさを痛感し、長い間ヨガサークル活動をお休みしました。

その様な中、サークルに参加していただいている皆さん、シエリアのコンシェルジュ、地域の繋がりを大事にされている方々とのご縁で、今回ヨガサークルの活動を再開しました。

現在は、マンション内だけでなく小和田地区の方とも繋がりが持てるように、YU-ZUルームでヨガ活動をしております。ご興味ありましたら、ヨガをご自身のペースと一緒に始めましょう！



大川代表



問合せ先

@mya.ko.mya

ヨガサークルの活動も5年を越えます

黒木八千代 松林公民館ヨガサークル「8YOGA」代表

このサークルの始まりは、少年野球のサポートに集まっているママ友から、ある時グラウンドで「えっ？ヨガの先生なの？ それなら私にもヨガ教えてほしい」そんな一言からでした。そこから、週末に子どもの野球のために集まっていたママ達と週に一度、自分達のリフレッシュの為に公民館に集まるようになりました。

そんな8YOGAですが、小学生だった子ども達もいつしか中学・高校生となり、サークルの活動も5年を越えます。写真撮影日に参加していたメンバーに、サークルについてコメントをいただきました。



中央：黒木代表



「週に一度、心と体のメンテナンスのために、楽しくヨガに通っています。ヨガ後は、とても体が軽くなります。」（あきば）

「体がほぐれてリラックス出来るヨガです。アットホームな感じで癒されます」(藤崎)

「私は腰が悪くてヨガを始めました。若い人たちに混じって、楽しんでいます。少し家が遠いのですが、もう少し頑張ってみようと思います。」(えい子)

「ヨガは呼吸を意識したストレッチという感じで、ヨガをすると、身体も気持ちもスッキリします。」(みえちゃん)

「レッスンに参加すると、自分と向き合う時間になって身体も心もリセットされる感じがします！」(近藤)

私自身、レッスンでみんなと顔を合わせる度に元気をもらえて、長くサークルを続けられていることにとても感謝しています。

松林公民館ヨガサークル「8YOGA」

問合せ先：☎ 070-7770-0168（黒木八千代）

子どもたちが楽しみながら成長し、
健やかな心と体を養う

加古文彦 湘南正拳クラブ YU-ZU道場 代表者

YU-ZU道場は、中学生までの子供たちを対象にした空手の道場です。毎週土曜日10時からYU-ZUルームで練習しています。

当道場は和道流空手を指導し、日本の武道の伝統と精神を大切にしています。小和田小学校で練習する小和田道場とは同門の仲間です。この環境で、子どもたちは伝統的な技術や礼儀作法を学び、心身の成長を促進しています。

当道場では、皆が初心者からスタートします。初めての子どもたちも安心して参加でき、子どものレベルに合わせて指導します。基本的な動きや形から始め、段階的に難易度を上げながら技術を向上させていきます。これにより、子どもたちは自信をつけ、協調性や忍耐力も養います。

YU-ZU道場は、厳しさの中にもコミュニティの温かさを感じられる道場です。親しみやすい雰囲気の中で、子どもたちは技術向上だけでなく、友情や仲間との絆も築いています。また、空手の練習を通じて、礼儀やマナー、責任感も身につけ、将来のリーダーシップの基盤を築きます。YU-ZU道場では、子どもたちが楽しみながら成長し、健やかな心と体を養えるよう心がけています。

興味のある方はぜひ、一度見学にお越しください。



加古代表



YU-ZU道場

練習場所：辻堂西口YU-ZUルーム

練習時間：10時から

活動日：毎週 土曜日

問合せ先：

☎ 090-8057-2997 (加古)

☎ 090-4835-8012 (上田)

Hulaを踊る時間が自分への贈り物になるように
アロハの会

東京でレッスンをしていた1人のメンバーが、結婚を機に辻堂に住むことになり、辻堂クラスを開くことになったのが10年前。それがアロハの会の始まりとなりました。そしてYU-ZUルームは初めの頃からお世話になり、去年の5周年では踊らせていただく機会もいただきました。

アロハの会のメンバーたちは、仕事と家庭を両立させながら毎月2回、土曜日のHulaの時間を仲間たちで支え合いながら頑張ってきました。子供たちも成長し、だんだんと家族たちも応援にまわってくれるようになりました。

Hulaは「つないでいく」ということも大切な目的のひとつです。いつもサポートしてくれる家族達、友人達、仲間達、関わってくださる皆様、地域コミュニティの皆様感謝していく。その気持ちが「ALOHA」ということにつながります。泣いたり笑ったり、感情が溢れたり、誰かのために踊ったり。でも一番は、その時間が自分への贈り物になるようにレッスンしています。

HulaはHawai'iの伝統芸能ですから、同じことを繰り返し繰り返しお稽古します。繰り返しをすることにより集中力につながって気持ちも体も整っていきます。そしてしっかりと地に足がつき、しなやかな動きをしていけるようになっていきます。終わった後にはみんな顔色も良くスッキリした気持ちで帰っていきます。また新たな仲間に出会えることも楽しみにしてます。



アロハの会

練習場所：辻堂西口YU-ZUルーム

練習時間：13時30分～16時30分 活動日：月2回 土曜日

問合せ先：✉ hinahina.inuwai.lehua@gmail.com

馬と出会って半世紀

星野正雄 本宿自治会

私と馬との出会いは会社でした。入社から数年が経過した頃、会社の運動部の中にあった乗馬部に興味を持ちました。それは半世紀位前の話です。当初の私のイメージでは、会社の乗馬部は単に馬好きが集まったサークル活動程度と思っていました。しかし、実際の部員には子供の頃から馬に乗っている方や学生時代に馬術競技で活躍した方がいて、私には乗馬部を続けたいという気持ちが全く持てませんでした。

それなのに、なぜ馬を続けてきたかと言うと、会社の関連病院の先生が存在がありました。その先生は乗馬部の創設者で、時間ができると、入社数年の私に馬の話や軍隊馬術の話をしてくれました。その話は私にとっても楽しく、だんだん馬の世界に引き込まれていきました。乗馬部は誰でも入部することができる部で、社業に影響のない週末に、東京近郊の乗馬クラブで練習していたことから、長く続けられたと思います。その後、20年近くは主将として活動しました。

さて、社会人団体にも競技会があります。日本社会人団体馬術連盟主催の競技会はオリンピックや国体などと少し違って、種目数が少ないこともありますが、最も大きな違いは、試合当日に初めて会う馬で戦うことです。一般的な馬術競技では、人馬一体となって練習をしてきた馬とともに試合に臨みますが、貸与馬と呼ばれる主催者が当日に借りてきた馬で臨みます。馬にも個性やくせがあり、どのようなタイプの馬なのか、練習のわずかな時間に見極めなくてはなりません。運もあります。



競技会前の準備運動の様子

以下は社会人馬術競技の一部を紹介します。

(1) 中障害飛越

年に一度、東京オリンピックを開催した馬事公苑(世田谷区)に全国の企業が集まり、1団体4名の選手による障害飛越の競技を行います。私は20数回参加しましたが、最も印象に残っていることはチームが上位入賞したのではなく、家族が見ている前で派手に落馬したことです。

(2) 個人選手権競技(障害飛越と馬湯馬術の個人戦)

民間の乗馬クラブでの予選会を行い、馬事公苑(世田谷区)で決勝リーグ戦を行います。上位者は国際大会に出られます。障害飛越(障害を落下させずに越える競技)と馬場馬術(馬を規則正しく正確に運動させる競技)の両方の総合成績で個人順位を決めます。私もこの競技に何回か参加してきました。

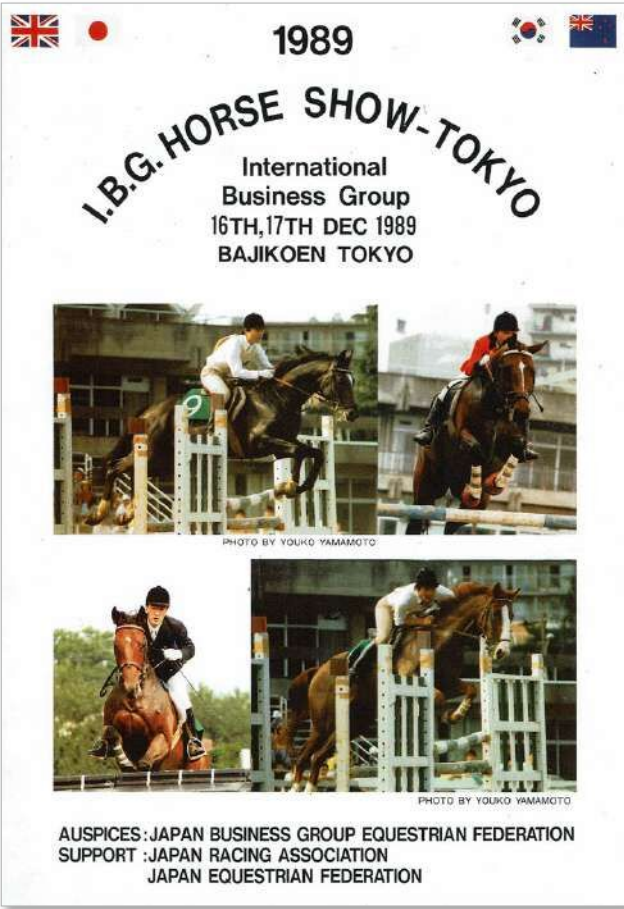
(3) 国際大会(IBG Horse Show)

日本/香港/韓国/台北/ニュージーランド/オーストラリアの社会人が一同に集まる競技会で、日本からは前年の個人選手権競技の上位者が参加します。私は2回参加させていただき、良い思い出になっています。

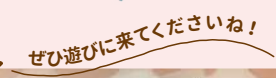
- 1989年の東京大会(馬事公苑)
第1位ニュージーランド、第2位日本、第3位香港
- 1997年の香港大会
第1位香港、第2位台北、第3位日本
試合会場が会員制クラブであり、ヨーロッパの雰囲気がありました。



今振り返ってみても、馬との出会いは、通常のサラリーマン生活では経験できないことを体験させてもらったと思います。



1989年のIBG Horse Show 東京大会のプログラム表紙
(プログラム内に写真付きの名簿があります)



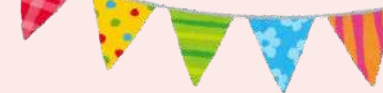
ぜひ遊びに来てくださいね！



辻堂西口
YU-ZUルーム
小箱ショップ マカナ
作家さん紹介

YU-ZU ルーム「小箱ショップ マカナ」では
地域の住民交流を図ることを目的として
手作り品の展示および販売をしています。

お問合せ： ☎ 0467-67-3177 (辻堂西口 YU-ZU ルーム)
茅ヶ崎市赤松町 13-68





細川秋穂さん



@kirakira_handmade1

私がハンドメイドを始めたきっかけは、子育てをしながら何か出来る事をしたいと思い、元々製作が好きだった事もあり、作品づくりを始めました。自分の作った作品が他の方に喜んで使用してもらえる事は、とても嬉しい事です。YU-ZULUROOMのホームページで「多世代が集い、地域住民の交流を深める拠点で誰でも自由に出入りができる」というキャッチフレーズでしたので、実際に来館して見学させていただきました。実際に見学すると落ち



着いた雰囲気地域住民の方が自由に出入りしている姿を見て、とても気に入りました。

小箱ショップ「マカナ」に展示されている作品を見て素晴らしいと感動しました。私自身も感動して貰えるような作品を展示したいとの思いから小箱ショップ「マカナ」に展示、出店させていただきました。

始めたばかりですが、YU-ZUルームにお立ち寄りの際は「マカナ」の作品を是非ご覧ください。

尚、インターネットでも出店しています。興味のある方は是非ご覧ください。



辻 恵さん



@pipi 2023peta.peta art

出身は川崎市で、17年前結婚を機に寒川町に引っ越してきました。毎日、仕事や家庭のことで忙しい日々ですが、今年は少し自分の時間が作れるようになってきました。私の周りには、マルシェでワークショップやハンドメイドの作品を出店して活躍している友人たちがいます。楽しく活動している友人たちの姿を目にして、私もハンドメイドの作品を皆さんに見ていただきたいと思い興味が湧いてきました。

そんな時、友人のワークショップに参加する為にYU-ZUルームに初めて来て小箱ショップ「マカナ」の存在を知りました。私も作品を置いて自分のショップ作りにチャレンジしてみたいと思って「マカナ」に私の作品を置かせていただけることになりました。アイデアはたくさん浮かびますが、なかなか形になりません。日々、試行錯誤の繰り返しです。世の中には沢山の可愛い素敵な作品が溢れていますが私の作品で皆さんに笑顔になっていただけたら嬉しいです。

それと同時進行で「手形アートのア
ドバイザー」の資格も取り奮闘してい
ます。子ども服の販売、保育士など子
どもと関わる仕事をしてきました。手

形アートも今しかない可愛い姿を残して皆さんで幸せな気持ちになってほしいと思っています。

最近ではYU-ZUルームで開催されたワークショップにも初挑戦させていただきました。今後も、皆さまが笑顔になれるような作品作りと楽しいワークショップにチャレンジしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



内田菜緒さん



@made in pipiripi

幼い頃から手芸などの細かい作業が大好きで、布の端切れを見つけてはよく刺繍をして遊んでいました。

昨年妊娠した事をきっかけに外に出る回数が減り、何か自宅で楽しめることは無いかと考えていたタイミングで刺繍に触れる機会があり、「子供が産まれたらマンスリーフォト(1ヶ月ごとの成長を記録するために撮る写真)に使う数字カードは世界にひとつしかない可愛いオリジナルのものを刺繍で作りたい!」と思い、久しぶり布に糸を通すと時間を忘れてしまうほど楽しく、毎日



のように深夜まで刺繍に没頭しました。そこからハンド
どんとハマっていき、趣味でビーズ刺繍やレジン、ミニチュア
品を作製していきました。そして見る側から販売する側へ、
ドメイド作家として活動を始めました。

最初はサイトへのアクセス数が伸びず悩ましい日々が続きましたが、徐々に「可愛くて毎日着けています」や「誕生日のプレゼントに贈ったらとても喜んで貰えました」などの嬉しいお言葉をいただけるようになり、半年経った今では毎日楽しく作家活動をさせていただいております。現在は辻堂YU-ZUルーム内にある小箱ショップ「マカナ」でも作品を販売させていただいております。是非お手にとってご覧ください。



編集 後記

休日の小学校の校庭では、スポーツ活動に熱中する子ども達と父兄を含む沢山の先輩たちが楽しそうに駆け回っている。そんな姿がこれらの記事から垣間見れば幸いである。

(記事は敬称略、順不同です) 編集委員：香山隆・風岡学・二本木和久・菅野京子・飯田菊子・池田浩二・深野隆・高富光司



小和田地区まちぢからニュース（第58号）

令和6年 8月1日号
発行：小和田地区まちぢから協議会
問合せ：茅ヶ崎市くらし安全部市民自治推進課
電話 0467-82-1111（代表）
HP: <http://chigasakimachiren.org/kowada/>



令和6年度 小和田地区まちぢから協議会名簿 2024.07現在

役職	氏名	所属団体
会長	栗石 剛	協議会推薦（小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会会長）
副会長	三浦 一浩	赤松町自治会会長
副会長	下山 博	協議会推薦（プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会）
書記	大野 久美子	協議会推薦（菱沼小和田自治会）
会計	川原 葉月	協議会推薦
監事	日比 雅美	協議会推薦（新宿自治会）
監事	小林 範夫	協議会推薦（赤松町自治会）
委員	香山 隆	協議会推薦（新宿自治会）
	豊田 幸子	協議会推薦（菱沼小和田自治会）
	山田 恒久	小和田地区民生委員児童委員協議会会長
	矢藤 誠治	小和田地区社会福祉協議会会長
	鈴木 徳信	松林地区体育振興会代表・（社）辻堂西口YU-ZUルーム代表
	山下 真人	みんなのこわだボランティアセンター長
	風岡 学	協議会推薦（赤松自治会・小和田地区自治会連合会会長）
	眞壁 章	本宿自治会会長
	安良岡 靖史	新宿自治会会長
	田中 茂	菱沼小和田自治会会長
	竹内 文雄	赤松自治会会長
	田口 真一	プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会会長
	永合 正行	協議会推薦（赤松町自治会）
	齋藤 里子	小和田小学校区青少年健全育成推進協議会会長
	三村 香代子	小和田小学校こわだ会代表
	佐藤 律子	赤羽根中学校保護者と教師の会代表
	白井 幸雄	松林区青少年育成推進協議会代表
	委文 光子	松林中学校PTA代表
	細井 麻奈美	松林小学校PTA代表
	山口 薫	杉の子こども会代表
	高木 真由美	協議会推薦（本宿自治会）
	須藤 亮	公募委員（新宿自治会）
	南 吉夫	公募委員
市役所担当	杉本 真太郎	市民自治推進課主事
オブザーバー	高澤 誠	小和田小学校校長

令和6年度役員

結成3か月！
チームワークはバッチリ♪
皆さまと一緒に小和田地区を
盛り上げていきたいです！

写真左より三浦副会長、川原会計、
栗石会長、大野書記、下山副会長



小和田地区担当 市民自治推進課 杉本さんより

小和田地区まちぢから協議会は、地域活動を頑張る方々が集結し、よりよい小和田地区を作っていくために様々な活動を行っています。令和6年度からは新たな役員体制となり、なんと3名の方が子育て世代です！長年地域活動を引っ張ってきた世代と新たな世代が交わる小和田地区の協議会活動は、地区住民のみなさまが日々感じることもうあったらいいなと思うことを具現化していける場でもあると思います。エネルギー溢れる小和田地区の地域活動がますます活性化していくことを楽しみにしております。

まち協って何してるの？

今までも活動のご報告をしてまいりましたが、今回は「交通安全部会」にスポットをあててご紹介します！交通安全部会はその名の通り、小和田地区の「事故ゼロ」を目指して交通安全に関する活動しています。部会の活動は、いつでもどなたでもご参加いただけますので、見かけたらぜひお声掛けください！挨拶いただくだけでも部会員の励みになります♪

東小和田交差点 自転車左側通行啓発活動



赤松中央通り ゾーン30

このベストが
目印☆



赤松通り 無灯火防止キャンペーン



小和田小学校 歩行訓練&自転車教室



小和田小学校 通学路改善提案



部会

原則、毎月第1木曜18時半～小和田コミセンにて会議を行っています。優しくて面白い部会員がたくさんいます。小学生・中学生保護者もいます！交通安全に関する事で気になることがありましたらぜひ覗きにきてください。



誰もが気持ちよく利用できる広場・チャレンジパーク赤松を目指して ～遊びのルール看板設置のお知らせとご協力をお願い～

「チャレパ」という呼称で地域から親しまれるチャレンジパーク赤松は、今から6年前の2018年4月1日に隣接する赤松どんぐり公園、YU-ZUルームと共にオープンしました。面積は3,291.99㎡と、小和田地区内にある公園としては一番の広さを誇り、公園の建設が決まった当初から、小和田地区まちぢから協議会が市と公園のあり方について、話し合いを重ねてきました。当時の小和田小学校4年生の授業で、「どのような公園を作ってほしいか」意見を聞いたところ、「ボール遊びができる広場が欲しい」という提案を受けて、現在の姿に整備されました。公園のコンセプトは、「地域住民が主体的に考え、様々な制約や禁止事項を設けず自由に利用できること」です。市内の公園によくある「利用者への注意看板」を設置しなかったことは、地域で「チャレンジ」してきた取り組みの一つです。しかし、時間の経過と共に利用する子どもたちの世代交代や新たな住民、小和田地区外からの利用が増えるなど、公園を取り巻く環境は大きく変化してきました。利用方法や時間帯も自由であるため、夜間の騒音や危険なボール遊びが増え、隣接するマンションや近隣住民の生活に影響を及ぼすようになりました。公園を利用する誰もが、自由に遊ぶ公園を守り続けていきたい一方で、「周辺住民に不自由が生じているのは、自由な公園は成立しないのではないか？」と近隣の自治会から声が挙がり、小和田地区まちぢから協議会と一部の公園利用者を加え、課題解決に向けた話し合いが行われてきました。



○ 最低限のルールを守って遊べるように

話し合いの結果、地域主体で意見をまとめた「公園遊びの基本ルール」を示した看板をチャレパ内の5箇所に設置することとなりました。「禁止事項」が並ぶ看板は避けたいとの当初からの想いを残しつつ、現状を踏まえて、ある程度守るべき道筋は示していくことが必要だと考え、看板の内容を決めました。

子どもたちや多くの地域の方々に看板の存在を知っていただき、ルールを守りながら公園を利用していただきたいと思います。

小和田地区まちぢから協議会では、今後も市と協力³³しながら、誰もが気持ちよく利用できる公園を目指してまいります。

フリースペース小和田のご案内

小和田地区民児協

ボードゲームや読書
...勉強もしちゃおう?!

小学生・中学生対象

参加無料

フリースペース 小和田

2024/7/26(金) 8/2・9・23(金)

開催時間 13:00~16:30

開催場所 辻堂西口YU-ZUルーム

おやつにおにぎりも
でるよ!

もちもの:

- すいとう
あついでのおおめにもってきてね
- ペンきょうどうぐ
ペンきょうをするときは
もってきてね
- タオル

お問い合わせは
InstagramかGmailへ!!

QRコード: @KOWADAMINJIKYOU

お問い合わせ: kowada21minjikyuu@gmail.com

※お申し込みは不要ですが、当日受付にてお名前・連絡先の確認へのご協力をお願いいたします

主催: 小和田地区民生委員児童委員協議会

協力: 小和田学区青少年健全育成推進協議会 松林学区青少年健全育成協議会
小和田小学校こわだ会 赤羽根中学校保護者と教師の会 松林小学校PTA 松林中学校PTA
小和田地区地域包括支援センター 小和田地区地域包括支援センター 茅ヶ崎市社会福祉協議会
後援: 小和田地区まちから協議会

フリースペース小和田

子どもたちが安心して過ごせる
フリースペースを開催します!

日にち

- 7月26日(金)
- 8月02日(金)
- 8月09日(金)
- 8月23日(金)

会場

辻堂西口YU-ZUルーム
和室/洋室/キッチン

時間

13:00~16:30

参加対象

小学生、中学生
(申し込み不要)
参加費無料

もちもの

- すいとう
あついでのおおめにもってきてね
- ペンきょうどうぐ
ペンきょうをするときはもってきてね
- タオル

お楽しみイベント

- 7月26日(金) 水鉄砲合戦
(雨天: プラバン工作)
- 8月09日(金) 英語であそぼ
- 8月23日(金) パン教室

詳細は裏面をご覧ください

フリースペースでは、ボードゲーム
やカードゲームで遊んだり、
宿題・読書など自由に過ごしてね。

おやつにはおにぎりがあるよ!!

主催: 小和田地区民生委員児童委員協議会

協力: 小和田学区青少年健全育成推進協議会
松林学区青少年健全育成協議会
小和田小学校こわだ会 赤羽根中学校保護者と教師の会
松林小学校PTA 松林中学校PTA
小和田地区社会福祉協議会
みんなのこわだボランティアセンター
小和田地区地域包括支援センター 茅ヶ崎市社会福祉協議会
後援: 小和田地区まちから協議会

お問い合わせは
InstagramかGmailへ!!

QRコード: @KOWADAMINJIKYOU

お問い合わせ: kowada21minjikyuu@gmail.com

※お申し込みは不要ですが、当日受付にてお名前・連絡先の確認へのご協力をお願いいたします

子ども達が「安心して過ごせる居場所」が少なくなっています。

小和田地区民生委員児童委員協議会(民児協)では、昨年より地域の皆さんと一緒に「こどもの居場所を考える」活動を展開しています。

今回はその一環としてフリースペースを開催いたします。

小中学生の皆さん、自由で何をしてもしなくても良い安心して過ごせる場所です。ぜひ来て下さい。

ボランティアも募集していますので、興味のある方はご連絡下さい。

地域の皆さん、「地域でこどもを育てていく」活動と一緒に取り組んでいきませんか!

なお、11月30日(土)には、「國分一哉先生の講演会」も予定しています。

お楽しみイベント

水鉄砲合戦 (雨天: プラバン工作)	英語であそぼ	パン教室
7月26日	8月9日	8月23日
【1部】13:10~14:10 【2部】14:30~15:30	【1部】13:00~13:40 【2部】14:00~14:40	【1部】13:10~14:10 【2部】14:30~15:30
【場所】チャレンジパーク	【場所】洋室	【場所】キッチン
お申込みはこちら	お申込みはこちら	お申込みはこちら

中高生ボランティアさん大募集!

子ども達と遊んだり、勉強を教えてください
イベントのお手伝いをしてくれる
中学生・高校生を募集しています。
詳しくは表面のQR(Instagram)から
お問い合わせください。

YU-ZUルームはこちらです

編集後記: まち協メンバーにも若い世代が台頭してきました。そして地域にも新しい風が吹きつつあります。その勢いで大きく羽ばたいてもらいたいと願っています。

編集委員: 香山隆 風岡学 二本木和久 瀬野京子 飯田菊子 石川絵理

小和田まち協ホームページ
はこちらから





巻頭言

■地域のぬくもりを大事に育てよう。（まちぢから協議会 香山 隆）■

菱沼八王子神社の雛飾り展示はこの地域で大事に育ててきた子ども達への愛情を改めて感じる素晴らしい伝統だ。

この地に立ってみると小高い丘の頂上に佇む鎮守様となっていて、最近まで神社を取り囲むように畑が広がり、そこから箱根と富士の雄姿がことのほか美しく眺めることが出来た。

しかし、最近急速な宅地開発により、近代的な住宅が立ち並び、そこには若いご夫婦が子どもたちに囲まれながら楽しそうに過ごす姿が垣間見られるようになった。

この10年、小和田地域は辻堂駅近くの大開発で街並みが大きく変わり、テラスモール湘南が基幹となり、藤沢徳洲会病院の新設、大規模マンションの建築、おまけに辻堂駅の大幅なりニューアルと始発電車の開設などひと昔前とは比較にならない賑わいを感じることができる。

それにつれ新しい住民が目まぐるしい勢いで増えてきている。

見渡せば、今や全国では少子高齢化が地域の担い手不足を騒がれるようになった。

ありがたいことではないか！我が小和田地区は子どもたちの元気な声と若々しい父兄の姿が日に日に大きくなりつつある。

昔から東海道に沿って、本宿・新宿などの賑わいを保ち続けたこの地には、幸いなことに地区運動会、盆踊り、浜降り祭などの多彩なお祭りなどが今でも地域の方々の力で守り続けられている。

地域には家庭ごみの処理や防災のネットワークをつかさどる自治会、困ったときに相談できる社会福祉協議会などの福祉ネットワーク、そして学童と親御さんの支援を受け持つ青少年健全育成推進協議会（略称：推進協）など、沢山の方々が日々活躍している。

新しくこの地に来られた方々もどうか（ちょっとだけ勇気をもって）地域の輪に入り込んでいただきたい それを私たちは待っています。

その手助けに地域の皆様の活動を今回の自治会活動の特集号で紹介することとしました。

さあ、どうぞご参加ください。

■ ごみ収集活動の実際：（新宿自治会）■

新宿自治会は18の班に地域を分けて班長に班内の取り纏めをお願いしています。各班では地域の状況に応じて組を編成し、現在組数は122組あります。組長を中心に回覧板等による情報交換や近隣の皆さんとの交流を行っています。ごみ収集活動の実態として、各集積場所ではカラスいけいけネットのボックス、プラスチック製バケツ、道路上や空き地にネットを使うなど地域の状況に応じた集積方法としています。



カラスいけいけネット



道路上にネットで



ペットボトル、ビン・缶

新宿自治会内では燃やせるゴミと燃やせないゴミの集積場所は約177箇所、資源物の集積場所は約53箇所あります。

各班長さんには環境指導員の仕事も兼ねていただき地域でのゴミ（資源物）集積場所に関する相談等に対応しています。

ゴミの有料化以降ではゴミの分別に各家庭が積極的に取り組んでいることから、資源物のゴミが大変多くなりました。

集積場所は以前のままのため、多くの集積場所は資源物であふれている状況があります。燃やせるゴミの集積場所は古くから設置している集積場所が多いのですが、新築の集合住宅や戸建て住宅では集積場所を新しく設置することで増えてきています。一方で、小規模の開発ではゴミの集積場所を新設しないため、近隣の集積場所を利用することになりゴミの量が増える結果となっています。

ゴミの量が増えることで、ネットからはみ出しているゴミ袋をカラスが狙いゴミの散らかしが増えるとともに、有料ゴミ袋を使用しないで出されたゴミは収集されずに残ってしまいます。

カラスによるゴミの散らかしは収集日に同じ場所で続いており、近所の皆さんに散らかったゴミの片付けをしていただいています。集積場所の近隣の皆さんには日頃からネットの設置や掃除をしていただいております。きれいな集積場所としての取り組みに大変感謝しているところです。

集積場所における大量のゴミが大きな課題ですので、1カ所に集まるゴミの量を減らすために集積場所を新設したいと考えていますが、新たな集積場所を作ることができず課題は解決していません。

ゴミ収集については分別が分かりにくいとの声がありますので、茅ヶ崎市のゴミ分別辞典「ごみサク」を紹介し、キーワードを検索欄に入力するとゴミと資源の分け方・出し方について分別方法等を調べることができることをお知らせしています。気持ちよく集積場所を使うことができるよう皆さんで声を掛け合いゴミの出し方が確認できると良いと思います。

ゴミの収集では環境事業センター職員の皆さんがいてねいに対応していただいています。

環境事業センター職員の皆さん、ありがとうございます。



ごみバケツを使用



指定ゴミ袋を使わない
ダメですよ！



カラスの被害（1）



カラスの被害（2）



収集方法に適さない出し方（持ってってくれない）

■東小和田公園の清掃活動（本宿自治会）■

東小和田公園は、緑豊かな公園で、多くの老若男女、子供が訪れる地域住民の憩いの場所と、平成4年に公園の地下に災害時の飲料水兼用貯水槽（100立方メートル水槽）が埋められており、いざという時に頼りになる公園です。

注釈：100立方メートルでは、1日あたり1人3リットルで計算すると約3日と言われてます。

さて、公園清掃は、毎月15日を東小和田公園の清掃日としております。

おおよそ1時間～2時間程度公園内の落ちていた枯葉・たばこの吸い殻・空き缶・ビニールごみなどのごみ拾いを行っております。

時には、枝の伐採、植木の剪定、排水路の清掃、春には花の植え替えなども行っております。

公園清掃で大変な思いをしたのは、排水路の清掃の時に管路に根が張っていて取り出すのに苦労した事がありました。

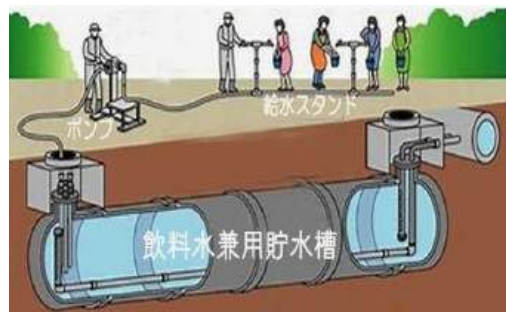
また、枯葉が散る時期は、枯葉を掃いても次から次へと枯葉が落ちて来るので困ります。

今後も毎月一回、清掃活動を実施し、地域の環境美化に微力ながら貢献し、会員の皆様に声掛けを行い、活動を広げて行きたいと思っております。

公園を次世代に良い環境を残していくために自治会として小さなことの積み重ね、継続して行くことが大切だと思います。



東小和田公園全景



貯水槽の概要



排水路の管路から取り出した根（長さ3メートル）



ごみ拾い



枝の伐採



植木の剪定



排水路の清掃

■ 3 自治会合同防災訓練 給水訓練 (本宿自治会・赤松自治会・赤松町自治会) ■



集まった各自治会の面々

赤松町にある東小和田公園には前述のとおり災害時の飲料水確保対策として、100立方メートル水槽が平成4年に設置されており、設置後から3自治会合同で、この水を活用するための「3自治会合同防災訓練」として、「給水訓練」が毎年行われています。本宿、赤松町、赤松の3自治会が持ち回りで主催団体となり、年度によっては「給水訓練」のみでなく、水消火器を用いた「消火訓練」、消火栓からホースをつないでの「放水訓練」や「起震車体験」等も行ったことがあります。かなり以前の記憶では、実際に金属のトロ船内で火を炊いて、本物の消火器で消火する訓練を行ったこともありました。開催時期も、初夏の頃が多かったのですが、ここ最近の猛暑の影響もあり、今年度は12月7日(土)に行われました。

今年度は給水訓練のみとし、主催団体からの挨拶の後、訓練開始です。茅ヶ崎市防災対策課員による、給水口であるマンホールの開け方の指導から始まりました。すでに、本宿自治会の防災リーダーたちによって、倉庫から必要な資機材は搬出されていたので、マンホールオープナーを用いて開けました。

一年ぶりなので、マンホールの隙間が埋まり、最初はうまく開けられませんでした、防災対策課員の奮闘等で無事に開きました。

最初は、手押しポンプによる汲み出し訓練です。マンホール内の配管と手押しポンプをホースでつなぎ、手押しポンプに呼び水を入れて、まずは大人が作動開始。ちびっ子も参加し、見事に水が出てきました。



給水口



防災対策課員のご協力で無事オープン



手押しポンプの作動



近くの園児が見学に

次に、エンジン付きポンプを使って、おおぜいが一斉に使える蛇口付き給水設備での訓練でした。蛇口の設置とホースの接続終了後、ポンプを起動。エンジンは回っていますが、ポンプが機能せず、水は出ませんでした。

定期点検は業者が行っているとの説明でしたが、水が出ないポンプでは、全く役に立ちません。ただし、翌週の月曜日に防災対策課で再度ポンプを動作させた結果、普通に作動したとのことでしたが、原因ははっきりしませんでした。来年度は、赤松町自治会が当番です



エンジン付きポンプの作動に苦戦



蛇口付き給水管の組み立て

■学童通学時の見守り隊（赤松自治会、風岡 学）■

小和田地区にはいくつかの「学童の見守り」や「パトロール」を行う団体がありますが、2022年度版「茅ヶ崎防犯活動団体ガイドブック」に掲載されている学童向けの団体が4つありました。

「小和田小学校区安全パトロール隊」、「赤松町自治会」、「小和田小学校こわだ会」および、「菱沼小和田自治会サポートクラブ（HKS）」です。

ここでは、平成16年から活動を介している「小和田小学校区安全パトロール隊」を紹介します。設立時の代表者は、赤松町自治会の「渡辺」さんでしたが、ご高齢を理由に退かれ、その後を「風岡」が引き継いでいます。

現在、登録者は22名で、本宿自治会、赤松自治会、赤松町自治会から参加されています。主な活動内容はガイドブックに掲載されている通りです。

（1）登校時（毎朝）

- ① 国道1号線小和田交差点で見守り
- ② 国道1号線赤松陸橋両側で見守り
- ③ 東側校門付近横断歩道で見守り
- ④ チャレバ通りと赤松中央通り交差点で見守り
- ⑤ 赤松中央通りと赤松北通りの横断歩道で見守り

（2）下校時

- ① 毎週月曜日東側校門付近横断歩道で見守りとパトロール
- ② 毎週水曜日東側校門付近横断歩道で見守りとパトロール



神奈川県警察本部長褒賞



各自、市から支給された「交通安全ベスト」と「帽子」を着用し、黄色い旗も活用しています。

代表である、私自身は会社を定年退職した、2019年5月から当時の赤松自治会長であった小宮さんとともに参加しており、ちょうど新一年生で入学した子らが、今年は6年生として卒業していきます。

毎朝、顔を合わせる子供らは百人百様で、一年生の頃からおはようと挨拶しても全く返事を返さずに、ついに6年生になった子もいれば、小学校から中学生になり、中学卒業の日にはきちんと「長い間ありがとうございました」と挨拶をしてくれた子もいました。

また、2年生の時に手紙を手紙を渡してくれた子がいました。

下校時に私の名札を見て名前を覚えたようで、手紙には「みまもりのまなぶさんへ 毎日みまもってくれてありがとうございます。いつかまなぶさんみたいなみまもる人になりたいです。〇〇より」とありました。

手紙は今でも大事にしまってあります。その子はあちらこちらで出会うと、大きな声で「まなぶさん」と声をかけてくれます。ちょっと70歳過ぎのおじいさんには照れくさいですね。

2022年には「小和田小学校区安全パトロール隊」が、神奈川県警察本部長褒賞を受けました。長年の活動はすべて渡辺さんが始めたことなので、警察に連絡して、設立者と一緒に褒賞を受けることとなりました。

■自治会対抗の松林地区大運動会（本宿自治会）■

第62回松林地区大運動会が10月に開催され、本宿自治会の成績は近年にない、総合順位「3位」でした。毎回13自治会の参加による運動会、今回は11自治会でした。

スポーツ競技は参加することに意義があるといつつも、運動会終了後の反省会では次回は必ず「順位を上げよう」と目標を立て意気込むのですが、いざ種目選手を集めるのが一番頭を悩ませます。

回覧版で選手募集、電話でのアポイントメントでは比較的簡単な種目は引き受けてくれる方も多いのですが、年齢別リレー、男女二人三脚などの選手になるとそう簡単に引き受けてくれません。

『探す方も必死です。』直接の声掛けを行い、ようやく運動会の1ヶ月前に各種目選手が決まったものの設定した練習日に種目選手が集まらず、思うような練習ができませんでした。

去年は、総合6位でしたが、『今年も順位は期待できないと思いました。また、運動会当日に種目選手が参加していただけるか心配でした。』

そして運動会当日、種目選手はなんとか参加いただけたので『ぶっつけ本番』で行うことになりました。

そんなメンバーがやってくれました。

ビックリです。得点種目の男女2人3脚（優勝）・男女キャッチボールリレー（3位）・年齢別リレー（男子決勝で敗退・女子決勝3位）・玉入れ（ベスト4で敗退）・みんなでジャンプ（2回とも飛んだ回数0回で敗退）・綱引き（一回戦で敗退）の結果『総合：3位 男女別順位：男子4位 女子準優勝』練習もほとんど行わず良い結果が得られたのは、選手の皆様が一生懸命がんばった成果と選手以外の参加者の応援があり良い結果が得られたと思います。

特に女性陣に乾杯、やや不調だった男性陣も乾杯、皆様お疲れ様でした。

今年も運動会の開催を案内します。選手希望、応援参加どちらでも1日楽しみましょう。

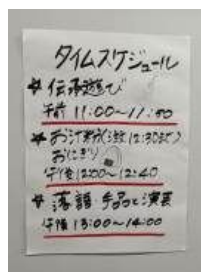
みんなの団結で『優勝』がそこまで来ているような気がしています。



■ 2024 年 忘れ交流会（菱沼小和田自治会・広報体育部） ■

去る12月8日(日) 11時から、市営複合施設にて当自治会文化部企画及び主催の年忘れ交流会が開催されました。(多)世代間「交流」が基本テーマで、伝承遊びの体験、その後、お汁粉がふるまわれ、最後は横浜市職員落語愛好会の方々による落語、手品及び演芸と盛りだくさんで、参加者総数は50名を超え盛況でした。

複合施設という一つの場所を使って、さまざまな遊び場を設け観劇場を設営しなくてはなりません。それを企画実行された文化部の皆さんやご協力いただいた皆さん、ご苦労様でした。そしてもちろんこの企画に参画された横浜市職員落語愛好会のお二人、この交流会に参加された皆さんありがとうございました。



当日のタイムスケジュール



東海道五十三次のすごろく
サイコロは二つ使い、出た目の数の和だけ進みます。休み
や戻りは有りませんが、上りの時だけは余分な分戻ります。
(サイコロ一つで?) 足し算もありちょっとした知育です!



主としてコマを使ったお遊び(旧と新)
いろいろなコマを手で回して遊びます(室内)。廊下では
ベーゴマ改訂版で対決(寒くない?)。その向こうではけん玉
に熱中する大人と子供。



百人一首 (Hishikowa式)
なにか字札が多くないです
か? その通り。3つのカル
タを使っています。だから
その気になれば一つの上の
句を聞いて、3枚の下句を
ゲットできない訳ではあり
ません。



手品(みきていーさん)
横浜市職員落語研究会
のみきていーさんによ
る演出



落語(空巢屋小どろさん)
横浜市職員落語研究会の小
どろさんによる落語。しゅげ
むじゅげむ…を久しぶりに堪
能?



演芸(傘回しと南京玉すだれ、
湊屋架け橋さん)
横浜市職員落語研究会の架け
橋さんによる演芸。実は手品
をやった(みきていーさん)
と同一人物。南京玉すだれは
子供さんに結構人気でした。

来られたお子さん達にはお菓子セットをあげましたが、これも文化部の皆さんが買い出しして用意したものです。お汁粉担当のお二人は施設台所で奮闘、残りの方は各お遊びにアテンドと。。。ご苦労様でした。

面白かった! 楽しかった! と爺ちゃん、婆ちゃん、ご両親、お孫さんが喜んでいただけたら文化部の皆さんの苦労も報われたかと思えます。

■自治会長奮戦記（菱沼小和田自治会会長 田中茂）■

どっこい どっこいの掛け声で分かる方は暁の祭典の常連さんです。

湘南茅ヶ崎の夏の到来を告げる浜降り祭、茅ヶ崎市と寒川町の神社から約40基の神輿が茅ヶ崎西浜海岸に集まり、神輿が海に入る姿（みそぎ）を見ることができます。

昭和53年に神奈川県が無形民俗文化財に指定され、かながわ祭りの50選に選ばれています。

浜降り祭りの起源については諸説あるみたいですが、江戸時代後期に幕府がまとめた「新編相模国風土記稿」によると鶴嶺八幡宮では寒川神社のお礼参りの古い時代から、心身の罪や穢れを清める「みそぎ」の神事を行うため毎年浜辺の渡御が行われたとあります。

両神社の伝承は古くから語り継がれ定着し明治9年（1876年）にここまで6月29日に行われてきた「みそぎ」神事を新暦の7月15日と定め、名称を浜降り祭りと呼ばれるようになりました。

このような伝統ある祭典に10数年前は海岸まで行き、見学した事はあったのですが、2年前に当会の評議委員となり、自治会長として参加することになりました。

参加と言っても大役で、まず服装は人生で初めて着るダボシャツ上下・半纏・地下足袋。

このいでたちで高張提灯を持ち、菱沼八王子神社旗、神輿を先導するという格式高く名誉ある仕事です。

神社集合時間は当日午前2時、宮立は2時半、ここでまた大役が。。。

お祝いの乾杯の音頭取り、そして出発の合図、両自治会長（菱沼自治会・菱沼小和田自治会）がそれぞれ高張提灯を持ち、神輿の担ぎ手の声も高らかにいざ目指すは海へ。

どっこい どっこい どっこい どっこい。

高張提灯持ちは6人が神酒所までそれぞれ交代で先導していきます。交通事情や時間の制限があるので神社から国道1号線まで先導し、神輿はトラックに載せて、関係者はバスにて134号線西浜海岸入口まで、そこから海までどっこい どっこい。

それぞれの神輿がこの時とばかりに上下左右壊れんばかりに揺さぶられ、海に向かってまっしぐら。

海の中では数基の神輿がしぶきをあげて大暴れ。

やがて神事が行われる場所に集合し、セットする事朝の5時、約1時間の休憩（朝食）時間、そして40基前後の神輿が寒川神社のお祓いを受け順番に帰路に向かって最終発、どっこい、どっこい。

神社の宮入が12時半過ぎ、長い一日でした。

皆さーん、今年は海岸でお会いしましょう。どっこい どっこい。



これぞ、浜降り祭の絶好調



中央が田中会長

編集後記：この冬は寒さがことのほか厳しく、YU-ZUルーム近くの河津桜もつぼみの期間がことのほか長かったようです。そこを取り巻く公園ではいつも誰かが草花の手入れをしてくれています。誰に褒められるのでもなく、当たり前のように暖かい目で見守ってくれる姿に心打たれます。今回の記事でそのような地域活動の一端がお知らせできれば幸いです。

編集委員：香山隆、風岡学、二本木和久、菅野京子、飯田菊子、石川絵里、鈴木孝、相武辰昌

令和7年3月号

発行：小和田地区まちぢから協議会

問合せ：小和田地区コミュニティセンター内

電話：0467-52-9016

HP: <https://chigasakimachiren.org/kowada/>

市長と語る会 特集号

令和7年2月8日（土）小和田地区コミセンにて開催



撮影：香山広報部会長

皆さま、こんにちは！小和田地区まちぢから協議会です。先月8日（土）に「市長と語る会」を開催いたしました。今回はそのご報告です。今年度は「子育て世代からの質問・意見」をテーマに、小和田地区在住の子育て世代から7つの質問を行政に投げかけてみました。

当日は市長が欠席というアクシデントを乗り越え、塩崎副市長・岸副市長・竹内教育長のお考えをしっかりと伺うことができました。開催にあたり、アンケートに回答してくださった皆さま、委員の皆さま、当日お越しくくださった皆さま、サポートいただいた行政担当職員さん、そして理事者の皆さま、とても有意義な時間になりましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました！

～第1部の様子～



左から、
塩崎副市長の挨拶、
三浦市民自治推進課長
からの答申代読、
部会の報告
(広報誌受け渡し)

☆小和田地区まちぢから協議会 構成団体☆

役員5名、監事2名、交通安全部会、防災部会、広報部会・自治会連合会（本宿自治会・赤松自治会・赤松町自治会・新宿自治会・菱沼小和田自治会・プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会）・小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会・小和田地区民生委員児童委員協議会・小和田地区社会福祉協議会・松林地区体育振興会・（社）辻堂西口YU-ZUルーム・みんなのこわだボランティアセンター・小和田小学校区青少年健全育成推進協議会・小和田小学校こわだ会・赤羽根中学校保護者と教師の会・松林学区青少年育成推進協議会・松林中学校PTA・松林小学校PTA・杉の子子ども会・公募委員・協議会推薦委員・茅ヶ崎市役所市民自治推進課

～第2部の様子～



開始前は和やかな雰囲気でしたが、質問時は皆さん真剣に耳を傾けていました。また、最後に集まったアンケート54件の一覧を塩崎副市長にお渡ししました。時には笑いあいの楽しい時間でした。



ちがさ農産
えぼし麻呂



～当日の質問内容～

1. 創業支援施策と中小企業支援について（塩崎副市長）
2. 公園の増設とボール遊びができる公園の確保について（塩崎副市長）
3. 災害時における子ども一人での避難について（塩崎副市長）
4. 希薄化する地域コミュニティへの対策について（岸副市長）
5. 情報リテラシー教育と金融教育について（竹内教育長）
6. ふれあい補助員とコミュニティ・スクールについて（竹内教育長）
7. 茅ヶ崎市で子育てをするメリットおよびアピールポイントについて（岸副市長）

↓写真左から
行政の皆さま
塩崎副市長
岸副市長
竹内教育長



「一問一答」の予定でしたが、「一問十答？」と思えるくらい、「業務を行うにあたっての想い」や「茅ヶ崎市への想い」など、それはそれは熱く語っていただきました。どんなお話だったかご報告したいのですが、とてもまとめきれません。詳細を知りたい方はぜひ「まち協」を覗きにきてください。（部会はどなたでも参加できます。）私達の住む「茅ヶ崎市」を引っ張っている方々が、しっかりと信念を持って政策に取り組まれているのだと再認識することができました。お忙しい中、真摯にお答えいただきありがとうございました！



当日参加された皆さまからは「楽しかった」「勉強になった」など、ポジティブな感想をいただきました♪ありがとうございます！



←三度目の名司会♪川原会計

最後は下山副会長がしっかり締めました♪→



小和田地区まちぢから協議会（まち協）は、これからも地域団体がちからを合わせ、世代を超えて活動していけたらと思っています。いつでもお問い合わせください。お待ちしております。

問い合わせ先：0467-52-9016（小和田地区コミセン内）



←撮影は香山広報部会長！